昭和24年12月27日第3種郵便物認可

日刊（土・日・祝日除く） ©産業新聞社2026年

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2026年（令和8年）8月17日（月）
第21477号
Since1936

読みやすさと検索機能をさらに追求
日刊産業新聞 DIGITAL
プラステキスト +TEXT
◀無料試読はこちら

発行所 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
TEL 03(5566)8770㈹ FAX 03(5566)8185
編集局（鉄鋼部） TEL 03(5566)8771
FAX 03(5566)8181
総務販売局（購読・配達） TEL 03(5566)8778
FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区阿波座1−3−15
TEL 06(7733)7001㈹ FAX 06(7733)7070

国内支社局網
中部支社 名古屋市中区上前津1−4−12 TEL 052(331)3371
中国支社 広島市南区大須賀町14−12 TEL 082(263)5523
北海道支局 札幌市北区北七条西4−8−3 TEL 011(756)1321
福岡支局 福岡市博多区博多駅前3−23−22 TEL 092(472)3887
東北支局 仙台市青葉区大町1−1−8 TEL 022(223)9032
北信越支局 新潟市中央区万代4−2−23 TEL 025(244)7600

熊本地震 復旧が本格化

鉄鋼・非鉄企業、順次稼働を再開

物流・水不足に課題も

「令和8年熊本地震」発生から、あす18日で3週間。最大震度7を観測した熊本県宇城市と氷川町を中心に建物の倒壊など甚大な被害に見舞われ、鉄鋼・非鉄関連企業も多数が被災したが、盆明けから本格的に稼働を再開する企業が見られ、復旧・復興に向けて動き始めている。

宇城市に本社を置くSグレード鉄骨ファブリケーター、永井製作所は本社工場で天井クレーンの脱輪や鉄骨製品の落下などの被害を受けた。設備は大きな被害がなかったものの、地震の揺れにより、ずれが生じた設備もあったほか、杭を打設している事務所棟や工場建屋周辺で地盤沈下が見られた。

発災翌日の7月29日夕には電気が復旧。井戸水をくみ上げられるようになり、被害状況の把握や設備の点検を終え、八代工場（八代市）ともに8月5日には操業を再開した。

自宅や親族、知人が被災した従業員が多く、盆は当初の予定通りの期間を休みとした。今後、脱輪した天井クレーンなどを直し、月内にはフル稼働できる体制に持っていきたい考え。

八代市の鋼材流通も人的被害はなく、揺れによる大きな被害はなかった。設備はレーザー加工機に、ずれが生じ、月内の稼働は難しいとみる。従業員の自宅が被災するなど盆までは午前だけの営業を行ってきたが、盆明けの17日から通常営業を行う。

鋼材流通各社は、前回2016年4月の「平成28年熊本地震」の経験を踏まえ、鋼材を高積みせずに一定の高さで在庫していたが、各社で荷崩れが発生した。

野島鉄鋼店熊本店（嘉島町）は余震で倉庫内に入ることはできなかったが、3日から片付けやクレーン、機械の動作チェックなどを行い、加工済みの製品を出荷し、17日から加工やメーカーロール品の荷受けを再開する。

今回の地震で、九州自動車道をはじめ物流の大動脈が寸断された。鉄鋼製品などを輸送するのに熊本県南部には国道3号線、鹿児島方面には九州中央道で宮崎を経由するルートもあるが、交通量の増大で「通常の倍以上の時間を要し、ドライバーが帰ってこられない」（県央の鋼材流通）ため、定期便を休止したところもあった。

NEXCO西日本は14日、通行止めとなっていた九州道の松橋（まつばせ）―えびのインターチェンジの通行止めを解除。物流の正常化で復旧・復興が進みそうだ。

八代市や宇城市、氷川町などで断水が続き、政府などが「プッシュ型支援」として飲料水など支援物資を早くから供給してきた。

一時は給油量が制限され、「給油渋滞」が散見されたガソリンも4日目の8月1日にはおおむね解消した。停電は早期に復旧したものの、洗濯や入浴などに使う生活用水が不足しているとの指摘が多数聞かれ、酷暑の大災害の課題となっている。

被災した企業でも断水している地域の取引先などを回り、飲料水やポリタンクなどを提供している。断水は少なくとも今月末まで続くとみられることから当面の間、支援を行う考え。

復旧に向けて、すでに敷鉄板などの供給が始まっており、各社の操業本格化で復興に向けた動きが加速する。

永井製作所、側溝で曲がった雨水ますの鋼製受枠㊤、別の雨水ます付近も大きく変形

配管資材総合商社
With customers for the next 100years
KOJIMA
株式会社 古島
東京都中央区日本橋茅場町2-17-7
TEL:03(3668)4333 FAX:03(3664)5088

凝固割れ防止の中子開発

日本鋳造、砂型3D造形で

川崎工場

大手鋳造メーカーの日本鋳造は、川崎工場（川崎市川崎区）の砂型3Dプリンターを活用することで、注湯した鋼が凝固収縮した場合に割れなどの欠陥が生じない機能性中子（砂型）を開発した。半導体製造装置向け中子で試作を繰り返した結果、高い品質を確認しており、早期実用化を目指す。特許出願は完了している。

金属粉末の知見生かす

砂型3Dプリンター

砂型3Dプリンターで造型した中子

鋳型の一種である中子は、鋳造品の図面を基に木材や発泡スチロールなどの素材を用いて型を製作。その型に鋳物砂と樹脂を入れて混ぜることで硬化させ、中子を造型する。この場合、中子の内部と外部の強度は全ての箇所で同様になり、柔軟性に乏しく、鋼を注湯した際に生じる金属凝固収縮によって一部で凝固割れなどが発生するケースが見られる。

今回開発した機能性中子は、砂型3Dプリンターを活用することで実現。3Dプリンターでは金属粉末を積層する乾式運転と、この金属粉末を接着・結合させるためのバインダー（結合剤）を噴射する湿式運転を繰り返すことで中子を造型する。

機能性中子はこの造型プロセスにおいて、意図的にバインダーを噴射しない領域を内部に設け、中子に柔軟性を持たせることで金属凝固収縮による欠陥発生を防ぐ。「3Dプリンターの特性と、金属粉末に対する知見やノウハウを組み合わせて完成した」（同社）という。

日本鋳造は2023年9月、川崎工場に砂型3Dプリンターを導入。中子の製造を自動化することで省人化に寄与し、砂型製造コストが低減した。また、3D積層造形品の強度は鋳造品に比べて2倍程度大きく、補強材である芯金が不要になり、芯金の溶接などコスト低減につながっている。現在は半導体製造装置の架台用の中子を手掛けており、フルに稼働している。半導体関連ニーズを捕捉するため、新規アイデアの砂型製作に挑戦し、造形品質の評価段階に入っている。

関連記事2、3面

小野建 加工賃引き上げ

20―30%、10月受注から

諸コスト上昇

小野建は10月1日受注分から加工賃を現行から20―30%引き上げる。レーザー加工から、形鋼の一次加工まで全ての加工が対象。人件費の高騰や、工具や消耗品などの諸コストが上昇しており、今回改定に踏み切った。

同社はこれまでメーカー各社の価格改定に合わせて、形鋼類の販売価格のスケジュール値上げとともに加工賃の引き上げにも取り組んできた。ただ、鋼材に比べて加工賃の改定が思うように進まず、コストの増加分を吸収できていない。

加工賃については、製品価格の動向や、需要の強弱に左右されやすい。担当者は「需要が落ち込むと加工賃単独で採算を確保しにくい」と話す。現状を打破するためにも、今後は適正な加工賃の確保を目指す。

建材管グループ
□○パイプ在庫
ホワイト
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-353-9100
http://www.az-azabu.com

米ニューコア グレーチング生産増強

94億円投資 川下事業を拡充

米鉄鋼大手のニューコアは13日、5900万ドル（約94億円）を投じて、インディアナ州セントジョーにある鋼製ジョイスト（梁・下地）製造拠点のバルクラフト・インディアナを増強し、グレーチングの生産を開始すると発表した。川下の鉄鋼製品事業を拡大し、顧客へのサービス向上を図る。

ニューコアは「バルクラフト」ブランドを通じて、鋼製ジョイストやデッキ、グレーチングなどを製造・販売する。バルクラフトはニューコアが鉄鋼事業に進出するきっかけとなった企業で、1962年に同社を買収して鉄鋼業界に参入。その後、バルクラフトに鋼材を供給するため、電炉（ミニミル）の操業を開始した。

バルクラフト部門は現在、米国とカナダに9拠点を展開。非住宅建築向けのジョイストやデッキが主力で、倉庫やデータセンター、工場、店舗、大型商業施設、学校、病院などに供給する。年間生産能力は約120万ネットン。

ニューコアのジョン・ホラッツ副社長（建材製品担当）は「今回の投資は『中核事業の成長』と『事業領域の拡大』という当社の使命を推進するものだ。バルクラフトは現在も当社の成長に重要な役割を担っている」とコメントし、今後も川下の事業領域を拡充する方針を示した。

同拠点では300人以上が勤務しているが、新たに20人の常勤雇用が創出される見込み。ニューコアによるインディアナ州への大型投資は近年では4件目。22年以降、クロフォーズビルの薄板工場の近代化投資に2億9000万ドル、鋼構造物の工場建設に1億1500万ドル、断熱金属パネル製造施設建設に2850万ドルを投じた。

日刊 産業新聞
https://www.japanmetal.com
購読の申し込み
0120-300391
https://www.japanmetal.com/subsc

金属春秋

2026.8.17

ロンドン金属取引所（LME）の銅相場が最高値を更新した。現物セツルメント（前場売値）は、5月に付けた直近高値トン1万4097㌦突破後も上値追いの様相を見せる。非鉄を代表する銅の上昇を受け、他の非鉄金属相場も底堅い▼いくつか上昇要因が重なった。ホルムズ海峡開放の可能性が浮上し、有事のドル買いが一服した一方で、リスク選好からAI関連株の上昇とともに銅にも連想買いが入りやすい。米国が銅地金を輸入関税の対象に追加するとの観測や米国以外の取引所在庫減少など、銅はファンダメンタルズ（需給要因）も強い▼国際銅研究会（ICSG）が4月に発表した需給見通しによれば、中東情勢の悪化が需要の伸びに影響を与えるとの見方から、来年にかけ供給過剰幅が拡大するとの見通し。ただ、米国以外のタイト感を映し、足元でLME市場は逆ザヤを形成した▼何人かの業界関係者は「実需から見ると銅は高い」との見方を示す。一方で、中長期的なAIデータセンター向けなどの需要期待が変わらない中、銅が大きく下がる展開も予想しづらいとみられる。

きょうの紙面

8面 インタビュー
中国アルミ熱交材料 拡販

3面 鉄鋼ニュース
ファイバー複合機を導入
小野建の名古屋営業所は、ファイバーレーザー複合加工機と材料を自動供給する12段ストッカーシステムを導入した。外注加工の内製化によるリードタイム短縮やコスト競争力の向上を図る。

2面 鉄鋼ニュース
吉田鋼業の研削機本稼働

2面 鉄鋼ニュース
ジンダル・ステンレス新工場

マーケット情報

外為TTS	14日10時 三菱UFJ銀行	
ドル	160.42	↘
ユーロ	185.44	↘
人民元	23.93	

LME相場	現地13日セツル、ドル	
銅	14285.0	↘
アルミ	3279.0	↘
ニッケル	16690.0	↘
亜鉛	3806.0	↘

東証終値	14日、円	
68,713.80	405.21	↗
日本製鉄	676.3	↘
JFEHD	1,788.0	↘
神戸製鋼	1,986.0	↗

〈4面に主要企業株価欄〉

鉄スクラップ総合価格	14日調べ、円
H2	49,200
新断バラ	52,200

鉄スクラップ湾岸価格	関東地区、円
H2	45,500−46,500

バルチック海運指数	現地13日	
	2844	↘

WTI原油先物	中心限月、現地13日、ドル	
	81.25	↘

中国先物市場	中心限月、現地13日、元	
異形棒鋼	3003	↘
熱延鋼板	3235	↘
原料炭	1320.5	↘
鉄鉱石	707.5	↗

おかげさまで 創刊90周年
日刊 産業新聞
90th SINCE 1936
https://www.japanmetal.com

吉田鋼業、研削機が本稼働

泉大津臨海工場に新設

H形鋼用

大手鋼材特約店の吉田鋼業（本社＝大阪府東大阪市、吉田秋宏社長）は泉大津臨海工場（大阪府泉大津市）にH形鋼用研削機1台を新設し、6月から本稼働を開始した。

導入した設備は大東精機製のHスケーラー「HSW1570」で、ウェブ最大寸法1500㍉、フランジ幅700㍉まで対応する特注サイズの仕様。同社ではこれまで摩擦面処理は1000㍉までをショットブラストでの対応で、大型サイズは外注での対応としていた。H形鋼の一次加工を1500㍉まで引き受けていることに合わせ、ユーザーからの要望に応えるため今回の導入に至った。

泉大津臨海工場は主に1500㍉までのH形鋼やコラムの一次加工、近隣の泉大津鉄鋼センターが1000㍉までのH形鋼や厚板溶断を行っており同社の中心加工拠点としての機能を果たしている。

高濱一真所長は「物件対応を含めさまざまな需要に応えていくための前段階の設備投資だ。今後も需要を取りこぼさないよう受注し、ファブリケーター各社に寄り添い、柔軟な対応を目指していく」と話す。

H形鋼スケーラー

エンビプロ大幅増益

前期 金属相場上昇など寄与

エンビプロ・ホールディングスが13日に発表した2026年6月期連結決算は減収ながら大幅な増益を達成した。主力の資源循環事業、グローバルトレーディング事業に加え、リチウムイオン電池リサイクル事業も好調に推移し、経常利益で前期比194・6％増の35億8200万円を確保。売上高は前期比9・5％減の444億3000万円だった。

セグメント間の内部売上高、振替高を含めたセグメント別業績は、資源循環事業においては、主要金属価格の上昇傾向を受け、グループが強みとする独自選別技術による高付加価値品の回収・販売強化が収益性を押し上げ、売上高で前期比13・9％増の239億円、セグメント利益で同126・7％増の26億円だった。

2026年6月期連結決算

（単位:100万円、配当は円、中段は前期、下段は次期予想）

売上高	営業利益	経常利益	純利益	配当
エンビプロ・ホールディングス				
44,430	3,224	3,582	2,423	25
49,090	972	1,216	1,175	15
49,000	2,700	3,100	2,100	22

日本鋳造、半導体向け受注好調

通期業績予想を上方修正

佐竹社長

日本鋳造の佐竹義宏社長は2026年4―6月期決算を振り返り「素形材はAI関連の旺盛な需要を受けて、半導体製造装置向け鋳鋼品を中心に生産が好調となったが、4―6月期は製品出荷のタイミング、値上げ交渉の結果が反映されるタイミングに至らず、赤字となった。エンジニアリング関連も橋梁用支承や建築物用柱脚の現地工事が遅延し、売り上げ計上時期がずれ込んだことが大きい」と語る。

27年3月期の通期業績と配当予想は前回から上方修正。半導体分野を中心に受注は絶好調。建設機械向けも生産が回復している。量産した製品が出荷され、値上げ交渉分が4―9月期までに一部反映される」と予想する。

受注急増を受けて、川崎工場は26年度以降、すでに派遣社員を10人増やして増産対応を整えた。「全ての製造工程で人手不足に陥ることから、1直の生産体制は変えずに、9月以降ではさらなる増員も検討し、生産数量をさらに増やす」

26年6月契約分から本格的な値上げ交渉を行っており、「原料価格とともに、各種資機材の購入価格が大幅に上昇しており、労務費や増産対応に伴う追加コストもアップしている。中東情勢悪化の影響も収益に打撃を与えている。お客さまにはおおむね認めてもらっており、今後も粘り強く交渉していきたい」と、高品質鋳鋼品の安定供給を維持するため、採算改善への決意は固い。

下期の取り組みとして、「池上工場から集じん機を移設し、鋳物砂専用の集じん機を設ける。また鋳物砂の塊を産廃処理せず、リサイクルすることで地球環境保全、資源循環に寄与する。またフル生産が続くことから事故やトラブルが発生しないよう、安定稼働・安定生産に力を入れる」と語る。

印ジンダル・ステンレス

新工場建設を検討

年産400万㌧級、6000億円投資

インドのステンレス最大手、ジンダル・ステンレス（JSL）は、4000億㌅（約6000億円）を投じ、年間生産能力40万㌧規模のステンレス工場建設を検討している。13日までに現地メディアなどが報じた。

新拠点は、インド西部のマハラシュトラ州を検討しており、第1期の工事着工後、今後4年以内に生産開始を予定する。同社の生産能力は800万㌧超となる見通し。

JSLはインド最大のステンレスメーカー。生産能力は420万㌧でインドネシアやスペインなど国内外16カ所に製造加工拠点を持つ。インド国内では東部オディシャ州に製造能力220万㌧、北部ハリヤーナ州に同80万㌧の生産拠点を構える。

新社長登場

New President

エムエム建材販売

小川 稔弘氏

加工事業 向け先拡充へ

「ステークホルダーに当社の機能、価値をしっかり提供することで市場での存在感を示したい」と抱負。

入社後大阪本社の厚板建材課で厚板の店売りや橋梁メーカーへの直販などに従事。メタルワン東京本社での厚板営業を経て、2012年から15年に中国杭州の加工会社で董事長兼総経理を、20年から23年に杭州と兼務して蘇州の加工会社で董事長兼総経理を経験した。その後、大阪厚板課長、大阪支社副支社長を歴任し、現在に至る。

印象に残る出来事の一つは、中国での厚板溶断・加工拠点の撤退。黒字拠点で従業員体制も充実していたが、大手顧客の撤退に伴い、撤退を余儀なくされた。「一本足打法になっており、リスクヘッジすべきだった。悔いが残る」と振り返る。一方、中国事業に立ち上げから携わった話に触れ、加工事業という新たな道に踏み出すことの重要性を学んだとともに、加工事業を肌で感じ、顧客ニーズを深く知ったことで加工側の目線を得ることができ、帰国後に大いに生かされていると語る。

今後の課題として、更新した加工設備や強い物流ネットワークを駆使し、顧客ニーズに合わせて短期で加工、納入する体制の強化や、浦安、君津、神奈川の在庫拠点の在庫効率化、加工事業の向け先のさらなる拡充などを挙げる。

就任の際、社員に「挑戦の姿勢を大切にしてほしい」と訓示した。時代の変化が激しい中、顧客、メーカーからの信頼を得るために新しい価値の創造に全社を挙げて取り組む考えだ。（隠元 庸介）

▽小川稔弘（おがわ・としひろ）氏＝98年神戸大経営卒、日商岩井（現双日）入社、12年杭州美達王鋼鉄製品加工董事長兼総経理、15年メタルワン第一営業本部建産機鋼材課長、20年蘇州美達王鋼鉄製品董事長兼総経理、杭州美達王鋼鉄製品加工董事長、23年大阪厚板課長、25年から大阪支社副支社長兼務を経て現職。信条は「託された仕事はやりきる」。趣味は旅行、スポーツ観戦、城郭巡り。75年5月12日生まれ、兵庫県出身。

日刊産業新聞 26.8.17

日本鉄鋼連合 鉄鋼関連指標

〈市況〉	8月14日	前週	前月	前年
（東京相場、トン当たり1,000円）				
鉄スクラップ(H2問屋買値)	35.5	36.5	40.5	28.0
異形棒鋼(SD295・D16―25、直送)	114	114	114	104
H形鋼（200×100）	120	120	120	114
厚板（19㍉）	134	134	134	140
冷延薄板（1.0㍉）	122	122	122	119
表面処理鋼板	159	159	157	158
（電気めっき冷延下地、1.0㍉）				
黒ガス管（高炉品、50A）	245	245	240	235
ステンレス冷延鋼板	600	600	600	560
(SUS304、2.0㍉)				
構造用鋼(SC材、丸鋼)	200	200	200	210
亜鉛（建値）	676	676	658	463
ニッケル（溶解用、市中相場）	2,850	2,850	2,850	2,400
アルミ地金（市中相場）	635	637	633	448
銅（建値）	2,380	2,330	2,270	1,490

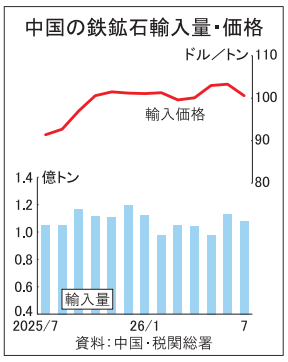
〈関連項目〉	（単位：万トン）	前月	前年
粗鋼生産	679.2 （6月）	694.2	671.0
小棒生産	52.3 （6月）	55.9	57.6
普通鋼国内出荷	305.2 （6月）	280.0	291.5
普通鋼国内在庫	510.5 （6月）	520.7	514.8
H形鋼ときわ会在庫	21.6 （6月）	21.9	20.8
鋼材輸出（普通鋼通関実績）	173.8 （6月）	164.7	166.6
鋼材輸入（普通鋼通関実績）	33.2 （6月）	31.2	36.3
新設住宅着工（万戸）	6.6 （6月）	5.8	5.6
新車登録（万台、含む輸入車）	27.7 （7月）	28.2	25.2

中国鉄鉱石輸入3％増

7月、年率最高ペース

中国の7月の鉄鉱石輸入量は、1億8808万5000㌧と前年同月比3・0％増え、2カ月連続増加した。1月からの合計は7億3684万1000㌧と前年同期比5・9％増えた。年率約12億5000万㌧と過去最高の水準を維持している。粗鋼生産は若干減少しているものの高位を保ち、割安な海外からの原料調達が続いている。

7月の平均輸入単価はトン100・6㌦（約1万6000円、CIF）と前月比2・6％安で4カ月ぶりに下がり、昨年10月以降、100㌦前後にとどまっている。



2026年6月の鋼材輸入通関実績（税関別）①

	数量 トン	金額 万円/トン
【東京】		
合計	8487.7	
棒鋼_横断面が長方形(除く正方形)		
合計	22.4	
タイ	17.4	24.5
中国	5.0	22.1
線材_横断面が円形、炭素≧0.6%		
タイ	18.2	12.4
中板_四面圧延・クローズドパス、150mm＜幅＜600mm、4mm≦厚さ、炭素＜0.6%		
タイ	2.6	20.4
冷延広幅帯鋼_幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、炭素＜0.6%高張力鋼板		
韓国	66.5	14.9
冷延広幅帯鋼_幅≧600mm、厚さ＜0.5mm、炭素＜0.6%		
合計	220.4	
台湾	208.4	12.7
韓国	12.0	11.5
ブリキ_板_幅≧600mm、厚さ＜0.5mm		
合計	181.2	
韓国	162.0	18.2
台湾	19.2	18.1
溶融めっき_板・コイル_幅≧600mm、波形以外、合金化溶融めっき		
韓国	156.7	13.3
溶融めっき_板・コイル_幅≧600mm、波形以外、その他		
合計	58.6	
韓国	33.6	16.9
米国	19.0	20.3
中国	5.9	33.4
溶融めっき_帯_幅＜600mm、その他		
合計	17.7	
韓国	7.8	18.8
中国	6.0	16.6
ベトナム	3.8	25.2
ティンフリー_幅≧600mm		
合計	461.5	
韓国	298.7	17.7
台湾	147.0	16.6
中国	15.8	15.2
ステンレス_棒鋼_熱間圧延、横断面が円形		
合計	105.2	
韓国	93.9	49.6
中国	7.0	79.2
ベトナム	2.6	177.4
台湾	1.5	127.4
ドイツ	0.3	231.9
米国	0.0	1528.0
ステンレス_棒鋼_熱間圧延、その他		
合計	1.5	
韓国	1.4	59.4
米国	0.1	1030.3
ステンレス_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
合計	22.6	
台湾	12.5	58.6
中国	3.0	272.5
韓国	2.6	60.0
スロベニア	1.5	218.5
米国	1.5	346.3
フィリピン	1.5	71.2
ステンレス_棒鋼_その他		
台湾	0.0	576.3
ステンレス_線材_熱間圧延		
韓国	35.6	52.1
ステンレス_厚板_熱間圧延、幅≧600mm、厚さ＞10mm		
中国	1.4	63.5
ステンレス_厚板_熱間圧延、幅≧600mm、4.75mm≦厚さ≦10mm		
中国	17.6	53.0
ステンレス_薄板_熱間圧延、幅≧600mm、厚さ＜3mm		
米国	1.0	218.0
ステンレス_薄板_その他		
韓国	0.1	1073.6
ステンレス_広幅帯鋼_熱間圧延、幅≧600mm、3mm≦厚さ＜4.75mm、ニッケル系その他		
合計	36.9	
台湾	19.2	33.7
中国	17.7	34.9
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、厚さ≧4.75mm		
合計	128.1	
中国	120.8	36.9
インド	7.3	36.4
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、3mm≦厚さ＜4.75mm、Ni7%以上10%未満		
合計	211.2	
中国	86.5	37.3
ベトナム	56.1	36.0
インド	41.3	37.8
台湾	17.6	42.7
タイ	9.8	34.1
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、クロム系その他		
中国	144.6	23.1
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、Ni7%以上10%未満		
合計	646.1	
ベトナム	259.8	35.6
タイ	162.7	38.1
インドネシア	153.3	34.9
インド	41.9	33.3
中国	28.4	34.4
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、クロム系その他		
合計	490.2	
中国	477.2	24.5
台湾	13.0	30.6
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、Ni7%以上10%未満		
合計	459.7	
タイ	178.7	42.2
ベトナム	140.2	37.5
インドネシア	77.4	36.6
インド	56.3	34.2
韓国	7.0	50.3
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、厚さ＜0.5mm、その他Ni7%未満		
韓国	32.7	51.3
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、厚さ＜0.5mm、Ni7%以上10%未満		
合計	22.4	
インドネシア	19.9	37.9
中国	2.5	60.6
ステンレス_帯鋼_熱間圧延、幅＜600mm、厚さ≧4.75mm		
中国	2.6	62.6
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、クロム系		
合計	18.5	
韓国	11.2	101.3
スウェーデン	4.6	685.3
中国	2.7	138.0
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、その他Ni7%未満		
合計	175.2	
韓国	112.6	55.9
中国	60.7	61.7
台湾	2.0	69.0
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、ニッケル系その他		
合計	76.4	
韓国	33.0	52.0
中国	23.1	114.4
マレーシア	10.5	51.5
米国	8.8	858.2
台湾	1.1	68.6
ステンレス_帯鋼_その他		
合計	14.3	
タイ	8.1	139.0
中国	5.5	62.3
米国	0.7	995.1
スウェーデン	0.0	1294.7
ステンレス_継目無鋼管_ラインパイプ		
合計	0.1	
ベルギー	0.1	1540.5
韓国	0.0	816.1
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、冷間引抜又は冷間圧延		
合計	14.8	
台湾	10.3	57.1
中国	4.4	316.8
韓国	0.1	949.4
ドイツ	0.0	29800.0
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、その他(熱間)		
合計	3.9	
中国	3.8	171.7
韓国	0.1	13188.1
台湾	0.1	450.0
その他特殊鋼_高炭素鋼_棒鋼_冷間成形又は冷間仕上げ		
中国	15.0	15.0
その他特殊鋼_高炭素鋼_棒鋼_その他		
中国	10.8	26.5
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_熱間圧延・熱間引抜又は押出し		
合計	260.1	
中国	259.9	10.9
米国	0.2	807.0
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_鍛造したもの		
台湾	1.2	44.3
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
米国	0.2	323.6
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_その他		
合計	22.9	
中国	22.8	43.8
米国	0.1	471.8
韓国	0.0	4820.0
その他特殊鋼_合金鋼_中板_熱間圧延、その他		
合計	8.6	
ベルギー	8.5	25.4
スウェーデン	0.1	231.3
その他特殊鋼_合金鋼_帯鋼_熱間圧延		
米国	0.0	17500.0
その他特殊鋼_合金鋼_帯鋼_冷間圧延		
合計	9.2	
台湾	5.2	77.7
中国	4.0	156.8
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_横断面円形、冷間引抜又は冷間圧延		
中国	2.7	138.0
フランス	2.0	64.4
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_横断面円形(熱間)		
合計	163.6	
韓国	163.6	15.5
米国	0.0	990.5
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_その他		
中国	2.1	11.7
その他特殊鋼_合金鋼_溶鍛接鋼管_その他管_その他、横断面が正方形又は長方形(溶接)		
中国	1.0	121.1
その他特殊鋼_バネ鋼_棒鋼_シリコマンガン鋼		
中国	276.4	10.3
その他特殊鋼_バネ鋼_線材_熱間圧延、シリコマンガン鋼		
韓国	316.5	16.9
亜鉛めっき線_横断面最大寸法≦1.5mm		
合計	16.8	
中国	14.0	12.7
スロバキア	2.8	78.9
亜鉛めっき線_炭素≧0.6%		
合計	100.8	
韓国	71.1	34.0
中国	29.7	37.7
フランス	0.0	1720.0
鋼索・より線_撚線		
合計	477.2	
中国	340.4	23.9
インドネシア	79.1	23.4
台湾	49.7	28.5
韓国	8.0	21.3
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径＞3mm)		
合計	101.8	
中国	37.8	58.8
スイス	26.1	104.7
ベトナム	9.9	51.3
韓国	9.5	27.0
ドイツ	8.4	148.1
スロバキア	7.7	89.5
台湾	2.2	77.2
オーストリア	0.3	381.0
米国	0.0	3010.5
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径≦3mm)		
合計	171.7	
韓国	143.4	41.7
ドイツ	19.3	109.1
フィリピン	8.0	739.6
中国	0.6	170.3
米国	0.2	1995.5
台湾	0.1	357.3
ベトナム	0.0	1918.8
鋼索・より線_その他		
合計	29.1	
中国	29.1	47.8
米国	0.0	3800.0
釘_その他これらに類する物品		
合計	2356.3	
中国	2332.5	18.2
ベトナム	11.2	54.2
台湾	4.4	116.0
トルコ	2.3	104.6
韓国	1.8	132.3
イタリア	1.7	147.1
スイス	1.5	891.4
米国	0.9	190.8
スクラップ_ステンレス鋼		
合計	68.4	
韓国	33.7	91.9
台湾	27.2	28.0
米国	7.5	65.6
スクラップ_その他のスクラップ_その他		
マレーシア	207.3	4.8
【東京航空貨物（原木）】		
合計	0.8	
ステンレス_薄板_その他		
米国	0.1	1110.0
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_その他		
米国	0.2	1130.8
鋼索・より線_撚線		
米国	0.1	2333.6
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径＞3mm)		
マレーシア	0.3	113.0
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径≦3mm)		
米国	0.0	16328.6
鋼索・より線_その他		
米国	0.1	3727.4
【羽田】		
合計	5.1	
冷延鋼板_幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、炭素＜0.6%		
米国	0.1	367.4
電気鋼板_無方向性電気鋼板_幅＜600mm、0.35mm＜厚さ、けい素≧3.0%		
インド	1.7	65.5
ステンレス_棒鋼_熱間圧延、横断面が円形		
米国	0.4	216.9
ステンレス_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
英国	0.1	215.2
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、クロム系		
米国	0.0	2281.8
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、ニッケル系その他		
米国	0.2	1955.5
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、冷間引抜又は冷間圧延		
合計	0.0	
米国	0.0	6094.7
スウェーデン	0.0	3340.0
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、その他(熱間)		
米国	0.0	2764.3
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_熱間圧延・熱間引抜又は押出し		
合計	1.6	
米国	1.0	532.2
インド	0.6	68.3
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
合計	0.1	
スペイン	0.1	742.9
米国	0.0	2782.4
その他特殊鋼_合金鋼_中板_熱間圧延、その他		
米国	0.1	231.9
その他特殊鋼_合金鋼_広幅帯鋼_冷間圧延、600mm≦幅		
米国	0.2	627.0
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_その他		
スロバキア	0.6	1375.1
鋼索・より線_撚線		
合計	0.0	
米国	0.0	38110.0
ドイツ	0.0	42600.0
英国	0.0	－
カナダ	0.0	－
【成田】		
合計	75.6	
熱延帯鋼_幅＜600mm、その他、厚さ＜4.75mm、炭素＜0.6%		
タイ	1.0	207.1
溶融めっき_板・コイル_幅≧600mm、波形以外、合金化溶融めっき		
合計	8.9	
タイ	5.9	103.9
カナダ	3.0	111.9
溶融めっき_帯_幅＜600mm、その他		
米国	0.7	106.9
電気めっき_非高強度鋼_幅≧600mm、炭素＜0.6%		
タイ	1.7	185.7
電気めっき_非高強度鋼_幅＜600mm、炭素＜0.6%		
タイ	1.1	42.5
電気めっき_非高強度鋼_幅＜600mm、炭素≧0.6%		
マレーシア	1.6	74.9
ステンレス_棒鋼_熱間圧延、横断面が円形		
合計	2.1	
米国	1.6	482.2
インド	0.3	74.1
イタリア	0.3	374.1
ステンレス_棒鋼_熱間圧延、その他		
米国	1.0	230.9
ステンレス_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
合計	9.2	
米国	7.3	555.3
ドイツ	0.7	260.4
イタリア	0.6	250.6
スウェーデン	0.4	214.2
スロベニア	0.3	347.6
ステンレス_棒鋼_その他		
合計	5.7	
台湾	5.2	144.6
オーストリア	0.3	350.4
アイルランド	0.1	7902.6
ドイツ	0.0	11588.0
ステンレス_薄板_その他		
中国	0.0	554.8
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、3mm≦厚さ＜4.75mm、Ni7%以上10%未満		
米国	0.2	337.7
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、Ni6%以下Mn3%以上		
米国	0.1	529.2
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、その他Ni7%未満		
米国	0.1	592.6
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、Ni7%以上10%未満		
米国	0.3	640.8
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、1mm＜厚さ＜3mm、Ni10%以上		
米国	0.1	805.3
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、クロム系その他		
中国	0.2	123.4
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、その他Ni7%未満		
米国	0.0	1180.0
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、Ni7%以上10%未満		
米国	0.5	526.3
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、0.5mm≦厚さ≦1mm、Ni10%以上		
米国	0.0	680.0
ステンレス_広幅帯鋼_冷間圧延、幅≧600mm、厚さ＜0.5mm、Ni7%以上10%未満		
米国	0.1	813.2
ステンレス_帯鋼_熱間圧延、幅＜600mm、厚さ≧4.75mm		
米国	0.0	5466.7
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、クロム系		
スウェーデン	2.5	1016.9
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、Ni6%以下Mn3%以上		
米国	0.0	594.6
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、その他Ni7%未満		
台湾	2.1	347.5
ステンレス_帯鋼_冷間圧延、幅＜600mm、ニッケル系その他		
合計	1.5	
ドイツ	0.9	179.9
米国	0.3	829.5
中国	0.3	415.1
ステンレス_帯鋼_その他		
合計	1.1	
ドイツ	0.6	459.4
米国	0.5	190.9
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、冷間引抜又は冷間圧延		
合計	1.3	
米国	0.6	1184.3
スウェーデン	0.4	680.4
韓国	0.2	2166.3
中国	0.1	238.5
フランス	0.0	3970.0
イタリア	0.0	4200.0
ステンレス_継目無鋼管_その他・横断面円形、その他(熱間)		
合計	4.3	
米国	3.4	3029.8
台湾	0.4	52.9
タイ	0.2	3006.2
スウェーデン	0.2	1235.7
韓国	0.1	25510.2
カナダ	0.0	118150.0
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_熱間圧延・熱間引抜又は押出し		
合計	1.2	
米国	1.2	656.5
フランス	0.1	1092.3
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_冷間形成又は冷間仕上げ		
合計	4.0	
米国	3.7	201.1
スペイン	0.3	664.4
その他特殊鋼_合金鋼_棒鋼_その他		
合計	0.7	
台湾	0.5	184.4
米国	0.1	507.8
ドイツ	0.1	710.2
タイ	0.1	427.1
その他特殊鋼_合金鋼_線材_熱間圧延、その他		
米国	1.6	136.9
その他特殊鋼_合金鋼_中板_熱間圧延、その他		
合計	1.4	
米国	1.3	278.1
台湾	0.1	956.6
その他特殊鋼_合金鋼_広幅帯鋼_冷間圧延、600mm≦幅		
米国	0.2	544.7
その他特殊鋼_合金鋼_帯鋼_熱間圧延		
合計	6.6	
米国	6.2	267.2
中国	0.5	125.8
その他特殊鋼_合金鋼_帯鋼_冷間圧延		
米国	0.1	670.6
その他特殊鋼_合金鋼_帯鋼_600mm＜幅、その他		
合計	3.3	
米国	3.0	2049.4
中国	0.3	226.0
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_横断面円形、冷間引抜又は冷間圧延		
合計	1.0	
米国	1.0	740.6
スイス	0.0	9766.7
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_横断面円形(熱間)		
合計	0.3	
イタリア	0.3	1137.6
フランス	0.1	1029.2
その他特殊鋼_合金鋼_継目無鋼管_その他管_その他		
米国	0.2	321.4
その他特殊鋼_合金鋼_溶鍛接鋼管_その他管_その他、横断面円形(溶接)		
合計	3.9	
カナダ	2.0	88.1
米国	1.5	279.2
中国	0.3	557.0
スイス	0.1	392.5
その他特殊鋼_合金鋼_溶鍛接鋼管_その他管_その他		
米国	0.0	7800.0
鋼索・より線_撚線		
合計	0.4	
米国	0.2	3964.9
韓国	0.1	371.9
中国	0.1	2342.1
チェコ	0.1	882.2
カナダ	0.0	51800.0
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径＞3mm)		
合計	1.9	
ドイツ	0.9	185.2
オーストリア	0.7	190.6
韓国	0.3	2153.9
米国	0.1	2034.5
鋼索・より線_ロープ、ケーブル(横断面直径≦3mm)		
合計	1.2	
米国	1.1	5436.9
フィリピン	0.0	1860.5
スペイン	0.0	640.6
ベルギー	0.0	4210.0
ドイツ	0.0	2560.0
鋼索・より線_その他		
合計	0.0	
英国	0.0	205550.0
ドイツ	0.0	－
釘_その他これらに類する物品		
合計	0.5	
ドイツ	0.4	214.0
中国	0.1	559.6
イタリア	0.0	1962.5

ファイバー複合機導入

小野建・名古屋 二次加工を内製化

小野建の名古屋営業所（名古屋市中村区、所長＝伊藤義昭・東海北陸エリア長）は、名古屋倉庫（同市港区）に村田機械製のファイバーレーザー複合加工機「LS3015MC」と材料を自動供給する12段ストッカーシステムを導入した。鋼板のファイバーレーザー切断とドリル、タップ、ザグリなどの二次加工を1台で完結できる最新鋭の設備で、外注加工の内製化によるリードタイム短縮やコスト競争力の向上を図る。7月下旬から試験稼働を開始する。

納期短縮 コスト改善図る

村田機械製のファイバーレーザー複合加工機「LS3015MC」と12段ストッカーシステム

同機はレーザー出力8キロワット。最大5×10メートルサイズに対応し、板厚25ミリ（軟鋼）までレーザー切断が可能。切削加工は板厚16ミリまで対応し、ドリル加工（穴径2・5―14・5ミリ）、深ザグリ（同6・5―20ミリ）、皿ザグリ（同2・5―20ミリ）、タップ（M3―16）を1台で行える。

切削工具を20本収納できる自動工具交換装置（ATC）を備え、12段ストッカーシステムとの組み合わせにより、材料の自動供給や夜間連続運転も可能。今後はATCを40本仕様へ拡張し、多品種加工への対応力をさらに高める考え。

導入の背景には、二次加工を含めた短納期・低コスト化への顧客ニーズがある。二次加工の外注によるリードタイムやコストが課題となっていたところ、昨年発売された同機が「ワンストップ加工体制の構築によるQCD（品質・価格・納期）向上につながる」（伊藤所長）と判断し、導入を決めた。

今回の設備導入で加工領域を拡充する一方、今後は「図面を加工データへ落とし込むスキルの強化が必須」（同）となる。営業段階で図面を正確に読み解き、スムーズに製造データへ変換する体制を整え、提案力と加工品質の向上を図る。

これにより、建産機をはじめとする製造業向け部材を中心に、中部地区の需要を取り込む考え。「三重営業所（津市）や岐阜営業所（岐阜市）、美濃営業所（岐阜県可児市）、グループ会社の丸久興商（愛知県豊橋市）などで受注した案件にも対応する。中部地区はものづくりの集積地。完成品メーカーから協力加工業者まで幅広い需要に対応できる『人場切符』となる設備として活用したい。QCDを高め、顧客の二次加工の負担軽減にもつなげていく」（同）方針だ。

鉄スクラップ国内市況

7月、全国で下落局面

H2炉前1000―4000円安

日本鉄リサイクル工業会は13日、7月の鉄スクラップ国内市況を振り返る談話を発表し、「輸出価格の低下や電炉メーカーの夏季減替介入で円相場が急伸し、相場をさらに下げたことも付記した。

電炉大手の東京製鉄について「7月中に7回にわたり値下げを実施し、各拠点の特級（H2相当品種）の価格は1トン当たり累計1000―3500円下落した」とした。「7月末のH2炉前価格は各地域とも前月末比で1000―4000円下落しており、いずれも続落と指摘した。なお7月31日時点の代表的な工場の特級価格は、田原工場が5万3000円、岡山工場が5万2000円、宇都宮工場が5万500円だった。

海外市況についても触れた。「輸出単価は6月以降上落に転じており、7月（平均）は前月比2000円下落した。海外鉄鋼市況は総じて軟調であり、米国のコンポジット価格は、7月中に約7ドル低下した」と回顧した。

談話によると6月の電炉鋼生産は184万3000トンとなり、前月比で1・6%増だったが、前年同月比では3・3%減と3カ月ぶりに前年割れ。1―6月累計では前年同期比0・3%減の1068万3000トンとほぼ前年並みの水準が続いている。

談話は輸出量にも触れた。6月の鉄スクラップ輸出量は59・9万トンと、前月比1・0%減となる一方、前年同月比では5・1%増と、7カ月ぶりに前年同月を上回ったとした。

1―6月累計では前年同期比7・4%減の353万7000トンだったとした。向け先別に見ると、第1位はベトナム向けで151万5000トン（前年同期比9・8%減）、2位がバングラデシュ向け79万7000トン（同23・5%増）、3位韓国向け55万1000トン（同11・3%減）、4位タイ向け28万8000トン（同147・4%増）だったとまとめた。

破産手続き開始

山産

帝国データバンクによると、建築材料卸の山産（京都府宇治田原町）は、7月27日に京都地裁から破産手続き開始決定を受けた。負債は約1億1600万円。

破産管財人には、吉川和明弁護士が選任されている。財産状況報告集会期日は10月28日午前11時30分。

1985年創業、90年に法人改組された。防火サイディングの販売および建築物の外装工事を手がけていた。

しかし、散発的に赤字決算を計上し、財務面は債務超過に陥っていた。不良債権が発生するなど余裕のない資金繰りを強いられ、取引先への支払い遅延が発生していた。近年は受注量が低迷、資金繰りが限界に達し、2026年3月末日に事業を停止していた。

人事異動

コマドコウ（8月16日付）

▽大阪工場ロール生産グループリーダー技術開発チームリーダー兼務（大阪工場ロール生産グループ技術開発チームリーダー）久家三明

▽本社経営企画本部品質管理部マネジャー（大阪工場ロール生産グループリーダー）横山大地

▽本社管理本部IR室IRグループサブマネジャー（盛篠股份出向）大山慧

JFEテク商事（8月16日付）

■管理職

▽江蘇川電鋼板加工出向（兼浙江川電鋼板加工出向）水野谷祐樹

産業春秋

題字 今井 敬氏

住友商事グローバルリサーチ社長 横濱雅彦氏

余白の不足

今回は、時間の「余白」が不足している状況を考えてみたいと思います。

いまは情報の洪水時代です。スマートフォン、タブレット、PC、そしてテレビやラジオを通じて、24時間絶え間なくニュースやメール、SNSの投稿や広告が押し寄せてきます。また、生成AIが実用に耐える水準になり、入力した情報が瞬時に整理され、図表や画像まで短時間で作れるようになりました。一見すると、高度に効率化された社会が到来したように見えます。その一方、ますます不足しているなと感じるのが、必要な情報を消化し、自分のものにするための「考える時間」、あるいは予定もなく「ぼーっと」考える時間です。

原因の一つに、スケジュール管理システムの普及もあるでしょう。予定がリアルタイムで共有され、調整は格段に効率化しましたが、自分の「空き時間」が周囲にまで見えるようになりました。予定表に空欄があれば、次々に会議や予定が入るようになりました。

「余白」が「予定を入れてよい時間」として可視化されているのです。

これを防ぎ、余白を確保するため、自分で自分にアポを入れてみるのですが、いつの間にかその意図を周囲にも見抜かれ、結局使えずに終わることも少なくありません。結果として、自由な思考に使えるのは、犬の散歩中や通勤、入浴、就寝前などの細切れ時間になってしまいます。それでも、脳がそうした環境に適応しているのか、新しい発想が不意に浮かぶことがあります。情報と予定の流れに身を任せず、少しでもスマートフォンから離れ、自分の頭だけで考える時間を確保したいと思っています。

さて、AIの進化には目を見張るばかりですが、心配もあります。AIは使用者の利用履歴から思考の傾向まで考えて、瞬時に回答を出してくれます。しかし真の生産性につなげるには、AIに対して「問いを立てる力」が必要だといわれます。では、その力はどうやって鍛えられるのでしょうか。やはり、時間をかけ、限られた情報を手掛かりに、自分の頭で考えることの蓄積によって養われる面が大きいように思います。そうだとすれば、考えることをAIに任せきりにしてしまうと、その力は衰えるおそれもあります。それは避けたいところです。AIが答えを出してくれる時代だからこそ、「紙とペンだけを前にして考える時間」を死守せねばなりません。自分へのアポ入れに励みたいと思います。

日刊産業新聞 26.8.17

鋳造品製造 スマート化を推進

日本鋳造・川崎工場

日本鋳造は、川崎工場（川崎市川崎区）に導入した国内最大級のパウダーベッド式金属3Dプリンターを2026年10月からフル稼働させる。近年に導入した砂型3Dプリンターや自動グラインダーロボットは稼働率が上昇しており、「工場のスマートファクトリー化に取り組むことで、省人化や自動化をより一層推進していきたい」（佐竹義宏社長）考えだ。

10月から本格稼働を開始する金属3Dプリンター「BLT―S450」

日本鋳造は少子化に伴う労働力不足、工場内作業の負荷軽減など鋳造業界が抱える厳しい経営環境を踏まえて、新材料開発力とデジタル力を組み合わせた「素材力×デジタル力」を打ち出して工場全体のデータをデジタル化し、高品質商品を製造する工場のスマートファクトリー化を目指している。

この一環として、品質改善やリードタイム短縮、外注費削減や生産性向上などのコスト削減に照準を合わせて、押し湯切断ロボットなど工場内技術のIoT（モノのインターネット）化を推進し、AI化も視野に入れている。

「BLT―S450」で造形したバドミントンの羽根

大型3D造形フル稼働

【金属3Dプリンター】

川崎工場では、業界に先駆けて3Dプリンターの活用を開始した。これは中国・ブライトレーザーテクノロジーズ（BLT、本社＝陕西省西安市）製で造形サイズ（縦450ミリ×横450ミリ×高さ500ミリ）と造形速度を有する。受注から製品出荷までに要する時間は鋳造工程の2分の1から3分の1に短縮している。

稼働開始後は専用のリフターやクレーンを設置するなど体制を整えたほか、自社開発したパウダーベッド式で国内最大クラスの造形サイズ（縦450ミリ×横450ミリ×高さ500ミリ）と造形速度を有する。受注から製品出荷までに要する時間は鋳造工程の2分の1から3分の1に短縮している。

稼働開始後は専用のリフターやクレーンを設置するなど体制を整えたほか、自社開発した低熱膨張合金「LEX（レックス）」シリーズの熱膨張ゼロ合金「LEX―ZERO（レックス・ゼロ）」の金属粉末を用いて試作などを繰り返した。今後は受注が好調な半導体製造装置向けで大型3D積層造形品を供給することによって、稼働率を引き上げる。同時にS20CやS55Cなど機械構造用炭素鋼の3D積層造形に適用し、市場に独自性をアピールする。また受注状況を見ながら、自社鋳鋼品で使用する3D積層造形の鋳包み材（インナーキラー）の製造にも活用する。

自動グラインダーロボット

【砂型3Dプリンター、自動グラインダー】

23年9月に導入した砂型3Dプリンターはここにきてフル戦力化。鋳造品を鋳込む際に使用する砂型（中子）の製造を自動化することで省人化に寄与し、砂型製造コストを削減した。また、3D積層造形品の強度は鋳造品に比べて2倍程度大きく、補強材である芯金が不要になり、芯金の溶接などコスト低減につながる。現在は半導体製造装置の架台用の中子を手掛けており、フルに稼働している。半導体関連ニーズを捕捉するため、新規アイデアの砂型製作に挑戦し、造形品質の評価段階に入っている。

自動グラインダーロボットは溶接補修ロボットを改造したもので、押し湯を切断した鋳造品の表面凹凸を削り取って形状を整える。手動グラインダーに比べて作業時間が最大半減する。26年6月から本格稼働を始め、現在はモノレールで採用する支承の加工を主体に活用しており、稼働率は現行20%程度。今後は半導体製造装置向け加工で稼働率上昇を見込んでおり、当面は5割稼働を目指す。

【JFEグループにおける金属積層造形の活用に寄与】

JFEグループ内では金属積層造形（金属AM）の活用に注力している。グループで金属AM部品のワンストップ供給体制を構築しており、JFEスチールが原料粉開発、JFEエンジニアリングと日本鋳造は金属AM造形、JFEテクノリサーチは品質評価・解析、JFEプラントエンジは設備系を担っている。今後もJFEグループ各社の強みを生かした連携を強化する。

日本鋳造は各種3Dプリンターを駆使した3D積層造形技術・ノウハウを確立するとともに、「レックス」シリーズ、製造プロセスにおける温室効果ガス（GHG）排出量をゼロとした鋳造品「グリーンキャスティングス」、コバルトフリーの低熱膨張粉末など金属粉末のラインアップも多く、引き続き広範・多岐にわたる需要ニーズに対応する計画だ。

佐竹社長は「3Dプリンターは社内用インナーキラーの製造で活用してきたが、半導体製造装置向けの受注が好調のため、お客さま対応で高水準の稼働になるとみており、3Dプリンターの増設も26年度内に検討を開始する」と、積極施策を講じる方針。

（濱坂 浩司）

工場ルポ

日刊産業新聞 26.8.17

千葉豪雨被害 JFE・千葉 一部設備停止

13日に発生した「令和8年8月千葉豪雨」の影響でJFEスチール東日本製鉄所千葉地区が一部冠水し、一部の設備の操業を停止した。人的被害はなく、（14日時点で）設備の操業再開に向け確認作業を進めている。

日鉄 君津・鹿島 通常通りの操業

日本製鉄・東日本製鉄所の君津地区と鹿島地区は、13日から14日にかけての「令和8年8月千葉豪雨」による被害はなく、通常通り操業を続けている。

日刊産業新聞メール速報
https://www.japanmetal.com/order-email
◆月曜から金曜日の朝と夕方に無料配信
◆速報性の高いニュースは臨時配信
登録は弊社サイトか、左記QRコードまで

産業新聞社 刊行書籍
弊社の刊行書籍は実務書として業界関係者だけでなく、多方面で利用されております。イベント、ご贈答用にも最適です。
こちらで提供中 amazon
Amazonでのご購入は

日本の特殊鋼
世界に誇る技術の粋
好評連載、待望の書籍化!
特殊鋼の歴史から現在までを網羅 巻末に統計と資料を掲載
新人教育にも最適
定価:本体 3,850円（税込）
A4判160頁

日本の非鉄金属
資源循環に貢献するメーカー
全国の資源循環拠点を網羅
非鉄金属原料の国内流通促進に貢献
定価:本体 8,800円（税込）
B5判 243頁

金属リサイクル企業ファイル
改訂5版
全国有力鉄・非鉄スクラップ企業約250社超の概要（特色・設備・経営戦略など）を掲載
定価:本体 4,400円（税込）
A5判 691頁

流通企業ファイル
特殊鋼・ステンレス編
改訂3版
全国有力企業の概要（設備・経営戦略など）を掲載
定価:本体 3,850円（税込）
A5判 頁

近代日本の伸銅業
― 水車から生まれた金属加工 ―
伸銅業（銅の一次加工業）という分野を初めて取り上げ、日本の産業革命の新たなかたちを探った類書のない書籍です。
定価:本体 4,400円（税込）
A5判 356頁

転換する鉄鋼業
高炉・電炉・特殊鋼・合金鉄・鋳鍛鋼・耐火物 編
改訂13版
高炉、電炉、単圧、特殊鋼、ステンレスさらに合金鉄、鋳鍛鋼、耐火物が加わり、鉄鋼業界の主要企業を網羅する内容に拡大しています。
定価:本体 8,800円（税込）
B5判 235頁

転換する鉄鋼業
鉄鋼加工メーカー 編
改訂4版
建材・表面処理鋼板・鋼管・棒鋼・線材など鉄鋼加工メーカーの概要（設備・経営戦略など）を掲載。
定価:本体 5,500円（税込）
B5判 185頁

非鉄小事典
改訂5版
非鉄用語・統計・規格など初心者から実務者まで必携の一冊。
定価:本体 3,300円（税込）
B6判 326頁

鉄鋼重量便覧
改訂38版
発刊から70年以上の歴史を誇る鉄鋼業界人必携の鋼材重量表。
定価:本体 2,750円（税込）
上製本・布クロス表紙 538頁

鉄鋼製品・鉄スクラップ商況
26年上期回顧と秋口見通し

鉄鋼・非鉄・需要業界の株価　14日

	終値	前日比
東証プライム		
日本製鉄	676.3	▼1.4
JFEHD	1788	▼9.5
神戸製鋼所	1986	6
中山製鋼所	638	10
合同製鉄	2965	40
東京製鉄	1737	3
共英製鋼	1965	42
大和工業	13235	▼25
東京鉄鋼	2025	24
トピー工業	3020	76
大同特殊鋼	2416	28.5
愛知製鋼	3240	80
三菱製鋼	2431	68
日本冶金工業	5480	30
中部鋼鈑	2087	25
日本金属	935	3
ヨドコウ	1437	12
洋カンHD	4419	60
ホッカンHD	2585	74
丸一鋼管	1765.5	18
大平洋金属	2690	34
新日本電工	443	19
日本製鋼所	7813	▼161
栗本鉄工所	1723	22
日本精線	1419	23
三井松島HD	2349	38
日本コークス	104	3
東海カーボン	1797	▼15.5
日本カーボン	5060	10
品川リフラ	2041	▼3
宮地エンジG	1616	24
川田TECH	1393	21
横河ブHD	2949	26
オリエンタル白石	353	2
駒井ハルテク	2370	49
技研製作所	1945	36
日東精工	778	4
岡部	940	6
ネツレン	1494	27
東京製綱	1927	20
サンコール	2138	109
ニッパツ	3713	54
中央発條	3735	30
三和HD	3651	▼25
文化シヤタ	1847	12
アルインコ	1131	15
三井E&S	4345	64
川崎重工業	2849.5	31.5
トヨタ	3020	35
日野自動車		
日産自動車	330	▼0.5
いすゞ	2265.5	31
三菱自動車	342.8	0.6
ホンダ	1658	10.5
スズキ	2086.5	86
SUBARU	2583	25.5
マツダ	1169	22
日立	5767	65
三菱電機	6153	133
富士電機	14900	▼70
パナソニックHD	4721	42
シャープ	675.6	22.6
ソニーグループ	3912	212
三協立山	670	6
LIXIL	1761	▼21.5
GSユアサ	5653	41
JX金属	3785	▼76
三井金属	29375	▼125
東邦亜鉛	1081	53
三菱マテ	5170	▼140
住友金属鉱山	9585	▼238
DOWA	9476	▼95
古河機械金属	4215	185
大阪チタ	2983	88
日軽金HD	3000	63
UACJ	2407	▼3
大紀アルミ	1855	10
古河電工	4057	▼54
住友電工	2386	51.5
フジクラ	5665	▼95
SWCC	14260	330
泉州電業	6790	110
SUMCO	3920	74
平河ヒューテ	3530	30
リョービ	2874	94
アーレスティ	674	5
AREHD	3630	▼90
日鉄鉱業	3365	110
ヨータイ	1809	45
レゾナックHD	16465	▼535
ラサ工業	2370	199
信越化学工業	6372	▼6
エアウォータ	2534	16
パーカライ	1734	7
チタン工業	1029	6
戸田工業	1578	▼12
日本触媒	2674	25.5
三菱商事	4769	▼63
三井物産	4825	▼69
住友商事	1791	11.5
伊藤忠商事	2064.5	▼13.5
丸紅	4930	▼42
兼松	2210.5	26.5
双日	5684	78
豊田通商	7325	127
佐藤商事	3925	200
神鋼商事	3020	28
阪和興業	1842	50
小野建	1447	18
橋本総業HD	1429	29
コンドテック	1606	17
ユニソルHD	2900	17
岩谷産業	2249.5	46
トルク	215	0
アルコニックス	3755	160
三洋貿易	1170	45
綿半HD	1335	10
松田産業	6960	▼100
フルヤ金属	8510	▼80
白銅	3970	160
カメイ	4335	▼5
立花エレテック	4280	0
Cominix	1431	▼67
ジェコス	1761	▼1
因幡電機産業	3051	3
アマダ	2767	▼3
日阪製作所	1800	57
やまびこ	4280	▼30
ユニオンツール	16370	▼330
コマツ	7302	▼60
住友重機械	5998	7
日立建機	5556	▼24
クボタ	2751.5	1.5
酒井重工業	2199	33
ダイフク	6303	▼19
加藤製作所	1352	21
タダノ	1431	24
マックス	1822	▼20
日本精工	1175	▼3
NTN	390.4	0.5
不二越	5810	140
ミネベアミツミ	3770	▼31
ツバキ・ナカシマ	327	4
シンフォニア	13490	390
ユニプレス	1328	32
キッツ	2072	▼9
CKサンエツ	5100	10
カナデビア	1246	13
三菱重工業	4254	▼2
IHI	3028	53
不動テトラ	2864	53
中外炉工業	4200	75
小松ウオール	2786	39
クリナップ	973	32
山九	8527	100
ユナイテド海	10440	20
上組	4953	▼83
NSSOL	3837	15
TREHD	2018	▼13
カナモト	5490	80
進和	3160	35
富士ダイス	1087	▼9
キオクシアHD	53740	1940
リガクHD	2087	▼87
東証スタンダード		
大阪製鉄	2705	1
北越メタル	1071	▼1
モリ工業	962	15
新家工業	2700	15
虹技	1319	8
日本鋳鉄管	1599	37
日亜鋼業	384	0
カノークス	2100	11
高田機工	1140	2
三洋工業	4700	0
中国工業	844	▼14
モリテック	254	0
東洋シヤタ	886	▼2
名村造船所	4455	35
サノヤスHD	315	4
アドバネクス	2381	35
エスグリットエナジー	58	▼4
カナレ電気	1759	22
ラサ商事	2130	37
丸建リース	1325	3
北沢産業	381	▼1
三晃金属工業	1333	14
丸運		
MERF	1500	▼32
高砂鉄工	1420	▼14
日本鋳造	918	▼2
メタルアート	7390	260
神鋼鋼線工業	1853	▼3
サンユウ	824	▼13
日本製缶	1360	
滝上工業	7670	▼40
川岸工業	4275	30
那須電機鉄工	19950	350
宮入バルブ	127	▼5
日本パワー	151	1
アマテイ	184	1
ワイズHD	85	0
ロブテックス	1177	▼1
トーアミ	622	6
クワザワHD	690	▼2
丸藤シート	1006	▼2
サンコーテクノ	1465	4
ジオスター	410	▼1
SECカーボン	2603	23
NITTAN	508	2
内海造船	12040	370
小池酸素工業	1479	1
フジオーゼ	1845	0
JFEシステム	1949	31
高田工業所	1718	11
中外鉱業	828	12
日本精鉱	1746	0
日本伸銅	2437	▼8
日本タングステン	3270	5
オーナンバ	1611	7
JMACS	1006	▼9
アルメタックス	284	2
不二サッシ	742	10
日創グループ	928	▼2
東北特殊鋼	4450	
新報国マテリアル	960	▼3
パウダーテック	3000	0
三ツ星	808	25
アサカ理研	3000	172
特殊電極	2750	
共和工業所	8160	
クリエイト	1160	22
初穂商事	1189	
清和中央HD		
タカミヤ	419	7
UEX	1284	9
イボキン	1533	16
エンビプロHD	772	▼101
名証プレミア		
岡谷鋼機	5060	▼20
名証メイン		
中央可鍛工業	600	▼1
MIEコーポ	1651	0
カネソウ	5090	
中日本鋳工	391	0

関東地区・鋼管　再販価格への転嫁急ぐ

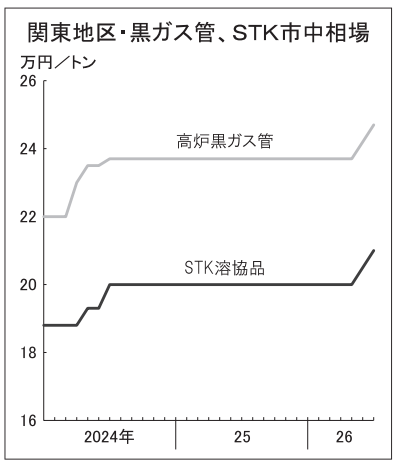
関東地区の鋼管は昨年12月に高炉メーカー2社が値上げを打ち出して、弱含みの市況が一転し、3月ごろから強含みに移行した。電炉メーカーの値上げ、その後の高炉の追加値上げ、二次加工メーカーの追随などにより、2年ぶりに上値を追う展開となった。相場は6月末にトン当たり5000円、7月にも5000円程度上伸し、現在に至る。

市中相場はベースサイズで一般構造用鋼管（STK400、直径48・6㍉×肉厚2・3㍉）がトン21万円、高炉黒ガス管（ねじなし、サイズ＝50A）が24万5000円、非高炉品の黒ガス管が21万円、中径角形鋼管が黒皮（肉厚2・3㍉×縦100㍉×横幅100㍉）で19万6000円、カラー（同）は21万円どころで推移している。8月は上げムードが一服しており、9月以降、再び市況が上昇ムードに転じるかは需要次第といえそうだ。

年度下期にかけては建築需要の戻りが期待され、伴って建設鋼材の引き合いが増えているもよう。自動車、土木は総じて堅調に推移する中で、建築の需要が全体の足かせとなっていたが、扱い筋からは下期への期待の声が大きい。

首都圏ではデータセンターや高機能の物流倉庫をはじめ、再開発の動きが進む。大型案件が一定の規模で推移し、中小案件の計画が進展すれば市中の鋼材に動きにも活況が出てきそうだ。

相場は底値から1万円程度上昇した。メーカー値上げを受けて、流通の唱え上げは道半ばとなっており、「まだ半分程度しか転嫁できていない」（大手扱い筋）という。流通でも仕入れ高、人件費・物流費などのコスト増が経営を圧迫しており、再販価格への転嫁を急ぐ。市況は目先、強含み横ばいだが、来月以降、再び上昇ムードとなるか。



大阪地区・薄板　「需要なき値上げ」に奔走

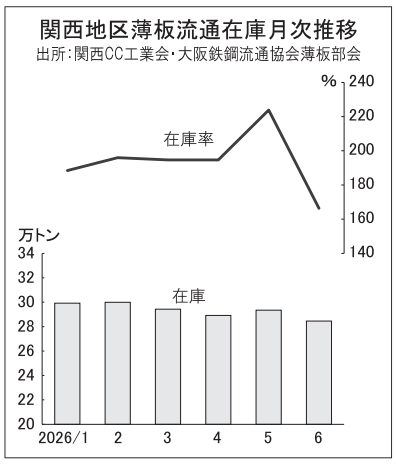
大阪地区の今年上期の薄板市況は、前半は昨年に続いて弱含みだったが、今春の高炉メーカー値上げを契機に強含みへと変化した。需要は一部季節要因ものなどは好調であるものの、総合的に旺盛ではないため、「需要なき値上げ」に流通各社が奔走し、現在へと至っている。

地区の市中価格は、熱延鋼板（3・2㍉、4×8サイズ）がトン10万―10万1000円、酸洗鋼板（1・6㍉／2・3㍉、同サイズ）が11万―11万1000円。冷延鋼板（1・0㍉、同サイズ）はトン当たり12万5000―12万6000円、表面処理鋼板は電気めっき・熱延（1・6㍉／2・3㍉）で14万3000円中心。

年明け後は弱含みでスタートし、流通各社からは「昨年12月と変わらない状況が続いている」（地区コイルセンター）との声が上がっていたが、高炉メーカーの値上げ発表後、3月後半から仮需が発生。仮需が多いため注文に制限をかける流通や、レベラーの納期が2週間先まで埋まる会社などが散見された。

4月から各社がトン5000―1万円の値上げを実施。メーカーが追加値上げを発表後は、夏にかけてトン1万5000円を段階的に値上げしようとアナウンスする流通が多く、5月に薄板全品種、8月に熱延の相場が上がった。

分野別で見ると全体的に変化がなく低調。自動車関連は、ダイハツ工業が挽回生産中。家電関連は全体的に低位安定だが、初夏以降、エアコンが季節ものとあって好調な様子。建機関連は一部メーカーや一部機種で動きが活発化、他メーカーは低調となっている。配電盤関連はインフラ、データセンター、自動車向けが好調。7月に入ってからは工機関連が好調。



北海道地区・鉄スクラップ　弱基調、底打ち期待

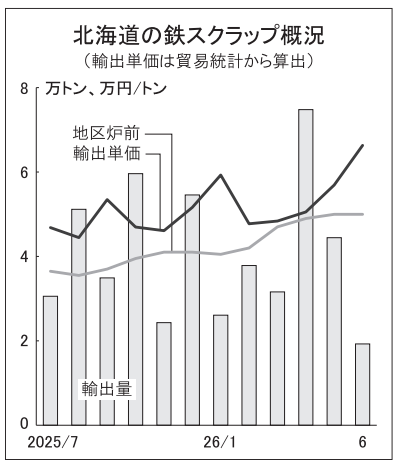
北海道地区の鉄スクラップ市況は、弱基調で上半期を終えた。足元の問屋ヤード持ち込み価格はH2でトン2万4000円どころ。年初からの変動幅は3500円のプラスだが、直近1カ月は下落局面にある。まだプラス幅を残してはいるが、需要動向や為替相場など注視する要素は海外主導。予断を許さない状況が続いている。

長らく市況を支配した下向きのベクトルは、昨秋から上向きへと変化し年末年始の調整を経て上期も継続した。2月に1500円、3月500円、4月2000円と相場は上昇。域内電炉メーカーの鉄スクラップ買値は4万円前後中心から4万円台後半へと上伸した。為替が円安傾向を維持し、ベトナムやバングラデシュなどの需要が堅調推移したことなどが影響した。

大型連休以降踊り場にあった相場は、夏を迎えて風向きを変える。政府による為替介入の影響で円高傾向となり、需要国も雨期を迎えて買い意欲が減退。相場は急降下し、地場炉前の鉄スクラップ購入価格はH2で4万円台前半が目前。下げ幅は14日時点で4500円に達している。

製品となる異形棒鋼の道内需要は、札幌圏を中心とした継続する大型案件がリードする。一方で、新規と中小案件の動向が依然鈍く、秋以降を不安視する向きも。メーカーの生産ピッチは上がらず、鉄スクラップ需給はミート。地場に相場上伸の要素は乏しい。

下半期の注目は東南アジアの需要が上向くかどうか。加えて、海上運賃や為替相場の動向にも注視が寄せられている。需要国の秋需が伸びれば、日本玉を求める動きも活性化し、相場上昇につながる。「このあたりで底打ちとなるのでは」（ヤード筋）と期待する声が聞かれる。



中部地区・鉄スクラップ　先安観、需給バランス注視

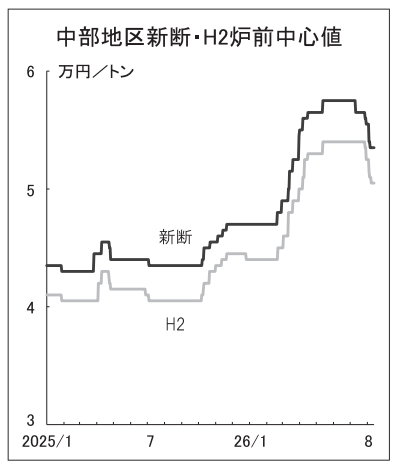
中部地区の鉄スクラップ市況は弱含み横ばい推移の展開。東京製鉄田原工場の陸上の特級購入価格は7月末からトン3000円値下がりした。荷余り感のある新断は7月上旬からH2以上の値下がり幅で、関東テンダーなど一連の直近の共同入札結果の値下がりも背景に、なお先安観が残る。ムード見ムードとなっている海外マーケットを注視していく展開。

地区炉前購入価格は、指標品でトン5万―5万500円前後。新断で同5万3000―5万3500円前後。地区市況に影響の大きい東京製鉄田原工場、名古屋サテライトの陸上の特級購入価格はそれぞれ、同5万1000円と5万円で、同社拠点で5万円台を維持しているのは両拠点のみ。田原工場の新断購入価格は同5万3000円となっている（8月13日時点）。

為替急変による円高推移を受けた新規輸出商談価格の低迷や、地区メーカー炉休に伴う需要減退で続落展開となった。今月7日実施の関東鉄源協同組合による共同輸出入札はトン4万9000円と、大幅な値下がりで10日実施の中部鉄源協同組合による新断バラ共同入札も、同5万4000円と落札価格はともに3000円超の値下がりだった。

相場続落に伴い底値を探る動きが支配的だが、熊本県の震災による自動車生産への影響と地区スクラップ需給への影響などが不透明で、メーカー炉休や海外ミルの低調な引き合いなどが続く中、当面は先安観が継続する見通し。

メーカー生産は普通鋼で低調な製品マーケットを背景に盛り上がりを欠いており、特殊鋼でも自動車生産動向などで減産調整が行われる可能性が生じており、目先は軟調様子見で需給バランスを注視していく展開。



欲しい相場を、欲しい期間で。
過去相場データ販売
デイリーデータ・マンスリーデータを、
ExcelファイルでEmailに添付してお送りします!
https://www.japanmetal.com/sell-pastdata
詳しい情報・お問い合わせ・お申し込みは
㈱産業新聞社 大阪本社 データマネジメント部
TEL06-7733-7050 FAX06-7733-7070 E-mail:media@sangyo.co.jp

鉄スクラップ相場

2026年8月14日調べ、◉は上げ▼は下げ（いずれも本体価格のみ）
問屋ヤード持ち込み価格（現金、1㌧、円）　一印は商いなし。
※は引き取り条件、地域により再生加工料を取るケース（逆有償）。

	東京	大阪	名古屋	広島	北九州	東北	札幌
可鍛・配合材							
キュポラ用	55,300	53,900	55,400	48,000	―	39,300	―
一般用	52,300	50,500	51,900	43,500	45,800	35,300	―
H S	39,500	39,500	40,000	38,500	42,500	28,500	27,500
H 1	37,800	38,000	39,000	39,300	40,500	26,800	26,000
H 2	35,500	36,500	36,800	38,000	39,900	24,500	24,000
H 3	35,000	35,000	35,800	37,500	38,900	23,500	23,000
ギロチン材A	34,000	35,500	36,000	37,000	38,000	23,000	22,500
〃 B	33,500	33,000	35,500	36,000	36,500	22,500	21,500
〃 C	33,000	32,000	35,000	33,000	36,000	21,500	20,500
新断プレス	38,500	39,500	42,300	39,500	39,700	30,500	28,500
新断バライ	37,500	38,500	41,200	39,000	39,000	31,100	27,500
鋼ダライ粉	31,200	30,000	26,800	32,000	37,900	22,000	20,500
銑ダライ粉A	31,700	29,700	27,000	29,000	38,000	22,500	21,000
〃 B	31,700	29,500	26,400	28,500	37,900	22,000	20,500
故銑（上大割）	39,000	37,000	37,400	38,500	41,500	27,300	26,000
〃（並大割）	37,300	36,000	37,000	37,500	40,000	25,800	25,000
自動車プレス	29,000	33,500	―	30,500	34,100	22,000	20,000
自動車ガラ	28,500	32,500	32,300	30,000	34,100	22,000	20,000
モーターブロック	38,300	37,000	―	38,000	39,000	24,000	23,500
スチール缶（飲料缶）	31,500	32,500	30,500	33,600	38,300	22,000	22,000
ステンレス・スクラップ							
18Cr8Ni新断	99,000	101,000	96,000	101,000	101,000	99,000	99,000
〃 ダライ粉	84,000	91,000	86,000	91,000	91,000	84,000	84,000
18Cr	41,000	39,000	41,000	39,000	39,000	41,000	41,000
13Cr	39,000	37,000	39,000	37,000	37,000	39,000	39,000
問屋売り需要家持ち込み価格（現金、1㌧、円）							
伸鉄材（上）	42,000	38,500	―	―	―	―	―
〃（並）	38,500	36,500	―	―	―	―	―

規格	厚さ	幅または高さ×長さ	単重（kg）
H S	6㍉以上	500㍉以下× 700㍉以下	600以下電特
H 1	6㍉以上	500㍉以下×1,200㍉以下	1,000以下特A
H 2	3㍉以上6㍉以下	500㍉以下×1,200㍉以下	1,000以下特級
H 3	1㍉以上3㍉以下	500㍉以下×1,200㍉以下	1,000以下1級

日本鉄スクラップ総合価格（メーカー炉前平均）　8月14日調べ

※東京、大阪、名古屋地区電炉メーカー購入価格平均（トン当たり）、産業新聞調べ

H 2	49,200円	（ ― ）	310.57㌦ （ ▼0.04）
新断バラ	52,200円	（ ― ）	329.50㌦ （ ▼0.05）

鉄スクラップ湾岸価格　8月14日調べ

※関東地区、トン当たり円、産業新聞調べ

H 2	45,500―46,500

米国鉄スクラップ総合価格　358.33㌦（57,483円）

※No.1ヘビー（ロングトン当たりドル）

東部地区	ピッツバーグ	フィラデルフィア	シカゴ
	380.00	340.00	355.00
西部地区	ロサンゼルス	シアトル	サンフランシスコ
	―	―	―

TTS1㌦＝160.42円で換算

転換する鉄鋼業
高炉・電炉・単圧・特殊鋼・合金鉄・鋳鍛鋼・耐火物 編　改訂13版
好評発売中!!
業界再編に対応した最新データを網羅
B5判 約235頁　本体価格 8,800円（税込）
こちらで提供中 amazon
お申し込み先 産業新聞社
東京本社 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目16番14号 フリーダイヤル0120-300391 FAX（03）5566-8185（販売部）
大阪本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座一丁目3番15号 TEL（06）7733-7001 FAX（06）7733-7033（販売部）

ホームページ制作
IT事業局には業界ホームページを制作した実績があります。
産業新聞社 IT事業局はホームページを廉価で制作いたします。
GO! GLOBAL
売りたい商品があるのに方法がわからない
新規事業で、新しい商品を宣伝したい
求人をもっと効率的に行いたい
営業地域を拡大したい
パンフレットをホームページ化したい
ホームページをリニューアルしたい
ホームページを制作しましょう!
ホームページは会社の顔!!
新規立ち上げ・リニューアル等
企画提案から制作まで、一貫してサポートいたします。
ホームページの制作は、
産業新聞社 IT事業局にお任せください。
お問い合わせ先 ◇ 産業新聞社 IT事業局
TEL:06-7733-7050 FAX:06-7733-7070
E-mail:media@sangyo.co.jp

鉄鋼市中相場

2026年8月14日調べ、問屋置き場仲値ベース（◉印は上げ▼は下げ、単位：円／トン、Nはノミナル）＊いずれも本体価格のみ

棒鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇異形棒鋼							
SD295(在庫)							
10	132,000	116,000	123,000	117,000	123,000	129,000	139,000
13	130,000	114,000	121,000	115,000	120,000	127,000	137,000
16―25	128,000	112,000	119,000	113,000	118,000	125,000	135,000
SD295(直送)							
10	118,000	107,000	114,000	107,000	113,000	117,000	129,000
13	116,000	105,000	112,000	105,000	110,000	115,000	127,000
16―25	114,000	103,000	110,000	103,000	108,000	113,000	125,000
32	115,000	104,000	111,000	104,000	109,000	114,000	127,000
SD345(直送)							
16―25	119,000	108,000	115,000	108,000	113,000	118,000	127,000
32	120,000	109,000	116,000	109,000	114,000	119,000	129,000
◇丸鋼（SR235、プレーン）							
9	138,000	159,000	136,000	151,000	—	123,000	170,000
13	130,000	138,000	130,000	139,000	141,000	114,000	160,000
16―25	128,000	138,000	128,000	137,000	139,000	112,000	158,000
◇構造用棒鋼							
13	136,000	140,000	137,000	142,000	143,000	128,000	167,000
16―25	130,000	147,000	135,000	140,000	141,000	122,000	165,000
28	132,000	147,000	137,000	141,000	143,000	124,000	167,000
◇平鋼							
6×32	159,000	◉135,000	137,000	134,000	135,000	136,000	154,000
6×50、9×100	157,000	◉133,000	135,000	132,000	133,000	134,000	154,000
16×50	160,000	◉134,000	137,000	135,000	136,000	137,000	157,000
9×200	160,000	◉140,000	141,000	139,000	139,000	136,000	160,000
◇角鋼							
16	183,000	◉163,000	150,000	157,000	158,000	159,000	194,000
25	182,000	◉161,000	148,000	155,000	158,000	157,000	196,000
50	183,000	◉164,000	151,000	158,000	161,000	159,000	198,000

パイプ

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇黒ガス管（高炉品、ねじなし、キロ）							
15A（1/2㌅）	255	250	248	250	255	223	225
50A（2㌅）	245	240	238	240	245	213	215
150A（6㌅）	250	245	243	245	250	218	220
◇黒ガス管（非高炉品、キロ）							
15A（1/2㌅）	215	210	200	210	235	200	210
50A（2㌅）	210	200	190	200	225	190	200
150A（6㌅）	215	205	195	205	230	195	205
◇白ガス管（高炉品、ねじ付き、ピース建て）							
15A（1/2㌅）	14,375	14,375	14,375	14,375	14,375	14,375	15,093
25A（1㌅）	24,600	24,600	24,600	24,600	24,600	24,600	25,830
50A（2㌅）	51,250	51,250	51,250	51,250	51,250	51,250	53,812
（ねじなし）							
100A（4㌅）	126,263	126,263	126,263	126,263	126,263	126,263	132,576
◇一般構造用鋼管（STK400、キロ）							
21.7×1.9㍉	215	215	200	215	210	205	220
48.6×2.3㍉	210	210	195	210	205	200	215
216.3×5.8㍉	215	215	—	215	210	216	221
◇角形鋼管							
2.3×100×100（黒皮）	196,000	192,000	190,000	190,000	190,000	185,000	196,000
2.3×100×100（カラー）	210,000	207,000	202,000	200,000	203,000	194,000	205,000

形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇H形鋼							
(広幅)							
6/8×100×100	123,000	◉122,000	120,000	120,000	122,000	128,000	133,000
8/12×200×200	121,000	◉120,000	118,000	118,000	120,000	126,000	131,000
12/19×350×350	123,000	◉127,000	125,000	120,000	122,000	128,000	138,000
(中幅)							
6/9×148×100	120,000	◉120,000	118,000	118,000	120,000	125,000	131,000
9/14×340×250	122,000	◉122,000	120,000	120,000	122,000	127,000	133,000
10/16×390×300	122,000	◉127,000	125,000	120,000	122,000	127,000	138,000
12/20×588×300	125,000	◉130,000	128,000	123,000	125,000	130,000	141,000
(細幅)							
5/7×100×50	136,000	◉149,000	138,000	138,000	140,000	146,000	164,000
6/8×125×60	134,000	◉146,000	136,000	136,000	138,000	143,000	159,000
5/7×150×75	122,000	◉122,000	120,000	120,000	122,000	127,000	133,000
5.5/8×200×100	120,000	◉120,000	118,000	118,000	120,000	125,000	131,000
8/13×400×200	120,000	◉120,000	118,000	118,000	120,000	125,000	131,000
11/17×600×200	125,000	◉130,000	128,000	123,000	125,000	130,000	141,000
◇等辺山形鋼							
3×25	131,000	◉132,000	128,000	130,000	130,000	136,000	140,000
3×30	128,000	◉130,000	126,000	128,000	128,000	133,000	138,000
3×40	125,000	◉127,000	123,000	125,000	125,000	130,000	135,000
5×40	122,000	◉125,000	121,000	123,000	122,000	127,000	133,000
4×50	120,000	◉123,000	119,000	121,000	121,000	125,000	131,000
6×50	118,000	◉122,000	118,000	120,000	120,000	123,000	130,000
10×90	130,000	◉137,000	124,000	126,000	131,000	128,000	141,000
9×130	135,000	◉140,000	130,000	132,000	136,000	133,000	147,000
◇不等辺山形鋼							
7×75×100,10×75×125	154,000	◉151,000	150,000	148,000	150,000	152,000	162,000
12×90×150	154,000	◉151,000	150,000	148,000	150,000	152,000	162,000
◇溝形鋼							
5×50×100	119,000	◉123,000	119,000	121,000	121,000	124,000	132,000
6.5×75×150	118,000	◉122,000	118,000	120,000	120,000	123,000	131,000
8×90×200	119,000	◉122,000	118,000	120,000	120,000	124,000	133,000
9×90×250	120,000	◉123,000	119,000	122,000	122,000	125,000	133,000
9×90×300	121,000	◉125,000	121,000	124,000	126,000	126,000	135,000
13×100×380	123,000	◉135,000	123,000	126,000	131,000	130,000	139,000
◇I形鋼							
5.5×75×125	179,000	◉180,000	173,000	170,000	169,000	164,000	176,000
7×100×200	157,000	◉151,000	145,000	152,000	144,000	145,000	158,000

コラム

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇大径角形鋼管（切断、開先加工込み）							
BCR							
9×200×200	185,000	175,000	175,000	175,000	190,000	170,000	200,000
12×350×350	190,000	175,000	175,000	175,000	190,000	170,000	203,000
16×400×400	198,000	183,000	183,000	183,000	198,000	178,000	211,000
STKR							
9×200×200	190,000	180,000	176,000	180,000	195,000	178,000	213,000
12×350×350	190,000	180,000	176,000	180,000	195,000	181,000	—
16×400×400	193,000	183,000	184,000	183,000	198,000	186,000	—

厚板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇定尺							
16（5×10）	134,000	135,000	137,000	140,000	154,000	146,000	160,000
19（5×10）	134,000	135,000	137,000	140,000	154,000	146,000	160,000
22（5×10）	134,000	135,000	137,000	140,000	154,000	146,000	160,000
25（5×10）	134,000	135,000	137,000	140,000	154,000	146,000	160,000
◇切板母材							
国内品（耳付）	129,000	129,000	129,000	—	—	—	—
輸入品(POSCO級)	118,000	118,000	118,000	—	—	—	—

薄板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇熱延鋼板							
1.6（4×8）	103,000	105,000	109,000	114,000	124,000	124,000	137,000
2.3（4×8）	100,000	101,000	106,000	110,000	121,000	121,000	136,000
3.2（4×8）	99,000	101,000	105,000	110,000	119,000	120,000	134,000
4.5（4×8）	99,000	101,000	105,000	110,000	121,000	121,000	136,000
3.2（5×10）	101,000	—	—	—	—	—	—
4.5（5×10）	101,000	—	—	—	—	—	—
(コイルカット品)							
6（4×8）	106,000	108,000	112,000	115,000	125,000	127,000	139,000
6（5×10）	107,000	109,000	113,000	116,000	127,000	131,000	140,000
9（4×8）	109,000	111,000	115,000	118,000	126,000	131,000	140,000
9（5×10）	110,000	112,000	116,000	119,000	128,000	134,000	141,000
12(4×8)	109,000	111,000	115,000	118,000	128,000	133,000	142,000
12(5×10)	110,000	112,000	116,000	119,000	129,000	134,000	143,000
◇酸洗鋼板(3×6)(4×8)							
1.6	108,000	111,000	118,000	120,000	130,000	125,000	—
2.3	108,000	111,000	118,000	120,000	130,000	125,000	—
◇冷延鋼板(3×6)(4×8)							
0.6	126,000	130,000	135,000	134,000	139,000	139,000	167,000
0.8	124,000	128,000	133,000	132,000	137,000	137,000	166,000
1.0	122,000	126,000	131,000	130,000	135,000	135,000	165,000
1.2	122,000	126,000	131,000	130,000	135,000	135,000	165,000
1.6	122,000	126,000	131,000	130,000	135,000	135,000	165,000
2.3	123,000	127,000	132,000	131,000	137,000	136,000	166,000
3.2	128,000	132,000	137,000	136,000	142,000	141,000	169,000
◇表面処理鋼板（3×6）(4×8)							
電気(熱延)1.6	149,000	143,000	148,000	150,000	148,000	156,000	178,000
2.3	149,000	143,000	148,000	150,000	148,000	156,000	178,000
電気(冷延)0.8	162,000	156,000	161,000	—	—	—	—
1.0	159,000	153,000	158,000	160,000	158,000	166,000	188,000
溶融(冷延)1.0	157,000	156,000	159,000	—	—	—	—
溶融(熱延)1.6	147,000	—	—	—	—	155,000	180,000
◇縞鋼板（床用鋼板）							
3.2（3×6）	145,000	150,000	147,000	150,000	152,000	157,000	167,000
3.2（4×8）	145,000	150,000	147,000	150,000	152,000	157,000	167,000
4.5（4×8）	144,000	149,000	146,000	149,000	151,000	156,000	166,000
6（4×8）	144,000	149,000	146,000	149,000	151,000	156,000	166,000

カラー鋼板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇カラーガルバリウム鋼板(大コイル・トン)							
0.35㍉×914㍉	325,000	312,000	302,000	315,000	325,000	286,000	350,000
0.80㍉×914㍉	284,000	269,000	252,000	270,000	275,000	236,000	300,000
◇カラーガルバリウム鋼板(小コイル・トン)							
0.27㍉×914㍉	358,000	344,000	—	355,000	360,000	317,000	381,000
0.35㍉×914㍉	350,000	336,000	—	335,000	342,000	306,000	370,000
◇カラー波板（1枚、2.5×6）							
0.19㍉	980	990	970	980	940	780	980
0.25㍉	1,180	1,190	1,170	1,160	1,080	930	1,180
◇亜鉛鉄板平板（トン）							
0.27㍉	255,000	228,000	224,000	230,000	240,000	185,000	272,000
0.35㍉	250,000	223,000	220,000	225,000	235,000	181,000	268,000
1.00㍉	235,000	209,000	200,000	215,000	215,000	171,000	258,000

軽量形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇軽量H形鋼							
3.2/4.5×150×75	190,000	210,000	177,000	210,000	215,000	176,000	215,000
3.2/4.5×175×90	188,000	208,000	175,000	208,000	213,000	174,000	213,000
3.2/4.5×200×100	185,000	205,000	172,000	205,000	210,000	171,000	210,000
◇軽量溝形鋼							
2.3×100×50	190,000	215,000	178,000	205,000	210,000	141,000	—
3.2×200×50	190,000	215,000	178,000	205,000	210,000	141,000	—
◇軽量C形鋼（カラー）							
1.6×60×30×10	180,000	181,000	161,000	176,000	181,000	150,000	198,000
1.6×100×50×20	178,000	179,000	159,000	174,000	179,000	148,000	196,000
2.3×100×50×20	174,000	175,000	155,000	170,000	175,000	144,000	192,000
3.2×200×75×20	178,000	195,000	174,000	190,000	195,000	148,000	206,000
◇デッキ・プレート（カラー）							
1.6×614×50V型	190,000	245,000	197,000	250,000	250,000	158,000	220,000
1.2×614×50V型	195,000	250,000	202,000	255,000	255,000	162,000	225,000
◇合成スラブデッキ							
1.2×600×50(カラー)	200,000	250,000	217,000	260,000	260,000	158,000	230,000
1.2×600×50(めっき)	220,000	250,000	229,000	280,000	280,000	173,000	245,000

線材製品

（近郊持ち込み渡し）

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇丸釘（トン）							
100㍉（4㌅）	282,000	301,000	280,000	280,000	290,000	272,000	320,000
◇亜鉛引鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	245,000	262,000	230,000	230,000	232,000	201,000	251,000
2.0㍉（14番）	265,000	281,000	250,000	250,000	252,000	214,000	270,000
◇有刺鉄線（1ケース）							
2.0㍉(14番)×100M	2,000	2,500	2,100	2,130	2,530	2,500	2,600
◇鉄線4.0㍉（8番）(トン)							
規格線	209,000	213,000	190,000	190,000	200,000	188,000	208,000
一般用線	199,000	206,000	185,000	185,000	195,000	181,000	201,000
◇ナマシ鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	225,000	218,000	200,000	200,000	210,000	202,000	220,000
◇番線（1ケース）							
3.2㍉×700	3,200	3,450	3,200	3,200	3,600	3,200	3,480
◇結束線（U）(トン)							
0.8㍉(21番)×350	205,000	220,000	215,000	205,000	233,000	200,000	260,000
◇カラー鉄線（ビニール被覆）(トン)							
4.0㍉（8番）	300,000	320,000	300,000	300,000	325,000	303,000	350,000
◇磨棒鋼（トン）							
16㍉	280,000	278,000	280,000	280,000	265,000	223,000	250,000
50㍉	285,000	283,000	285,000	285,000	270,000	227,000	255,000

特殊鋼

	東京	大阪	名古屋
◇機械構造用炭素鋼（SC、丸鋼、キロ）			
S25C―S55C	200	195	205
◇クロム・モリブデン鋼（SCM、丸鋼、キロ）			
SCM420・435・440	220	215	215
◇ニッケル・クロム鋼（丸鋼、キロ）			
SNC631	500	500	515
SNC415	480	480	490
◇ニッケル・クロム・モリブデン鋼（丸鋼、キロ）			
SNCM439	450	450	467
SNCM220	360	360	375
SNCM630	576	576	580
◇工具鋼（平鋼、圧延材、キロ）			
炭素工具鋼			
SK95	540	540	540
合金工具鋼			
SKS3	680	680	680
ダイス鋼			
SKD11	1,055	1,055	1,050
SKD61	1,055	1,055	1,050
高速度鋼（丸鋼）			
SKH57	6,100	6,100	6,000
SKH55	4,600	4,600	4,400
SKH51	2,500	2,600	2,400
◇軸受鋼（丸鋼、キロ）			
SUJ2	316	270	270

合金鉄

（キログラム当たり円）

大口ユーザー向け、国内相場

	高値	安値
◇フェロマンガン高炭素1号	381	366
◇フェロシリコン2号	268	259
◇シリコマンガン1号	240	221
◇フェロクロム高炭素5号（純分52%）	380	350
◇フェロモリブデン(純分キログラム当たり)	13,000	12,500
◇フェロバナジウム(純分キログラム当たり)	5,075	4,959
◇メタリックシリコン（中国産）	360	340

溶接材料

	東京	大阪
◇溶接材料（キロ、市場価格）(1.2㍉・スプール)		
軟鋼ソリッドワイヤ	610	610

ステンレス

	東京	大阪	名古屋
◇冷延ステンレス鋼板（薄板、キロ）			
SUS430（18Cr）			
0.3	525	515	525
0.5	475	465	475
0.8	445	435	445
2.0	430	420	430
SUS304（18Cr―8Ni）			
0.3	685	685	695
0.5	635	635	645
0.8	605	605	615
2.0	600	600	610
◇熱延ステンレス鋼板（厚中板、キロ）			
SUS304（18Cr―8Ni）			
3―6(ホットカットシート)	700	700	710
7―14（4段品）	800	800	820
SUS316（18Cr―12Ni）			
3―6	950	950	950
7―14	1,050	1,050	1,070
◇ステンレス棒鋼（丸鋼、キロ）			
SUS403（13Cr）	550	490	530
SUS304（18Cr―8Ni）	780	700	740
SUS316（18Cr―12Ni）	1,070	980	1,020
◇ステンレス溶接鋼管（50A、キロ）			
SUS304（18Cr―8Ni）	930	930	940

ボルト

	東京	大阪
◇カットボルト(1本)(ユニクロ)		
W1/2×25㍉	12.60	12.60
◇中ボルト(1本)(クロメート、ユニクロ)		
M16×50	14.90	14.90
M20×60	28.70	28.70
◇高力ボルト（トルシア）(1セット)		
S10T20×60	160.00	160.00
◇冷間ホーマーナット（1個）(ユニクロ)		
M12	3.50	3.50
M16	8.80	8.80

鋼線

	東京	大阪
◇鋼線（60C）(トン)		
4.0㍉（8番）	204,000	204,000
◇ピアノ線		
A種1.0㍉	730,000	730,000
A種2.0㍉	475,000	475,000
◇ワイヤロープJIS6×24(メッキなし、200㍍1巻)		
9㍉	42,500	42,000
10㍉	46,000	45,000
12㍉	53,500	48,000

金網

	東京	大阪	名古屋
◇金網（910×30㍍1巻）			
平織0.8×6㍉	11,000	10,500	11,000
亀甲0.7×16㍉	4,000	4,000	4,400
亀甲0.8×26㍉	3,400	3,400	3,800
◇ひし形金網（亜鉛引き、1平方㍍）			
3.2×56㍉	700	700	650
◇溶接金網（1平方㍍）			
6×150㍉	500	500	480
5×150㍉	350	350	320
3.2×100㍉	300	300	300
◇メタルラス(610×1.829㍉1枚)			
270番	110	110	90
300番（JIS0号）	150	120	100

特殊釘

	東京	大阪	名古屋
◇セメントコート釘（キロ）			
12×65	320	340	330
◇スクリュー釘（キロ）			
10×65	350	370	370
◇ボード釘（キロ）			
16×25	490	450	440
◇傘釘（キロ）			
13×38	500	470	520
◇カラー傘釘（キロ）			
13×38	490	480	590
◇コンクリート釘(500㌘)			
12×25	295	300	310
12×38	285	300	300
8×65	235	250	250
◇カラー釘（キロ）			
15×25（平頭）	490	490	530
17×25（ケーシング）	550	520	550
◇コーススレッド(700本入、1箱)			
3.8×25	500	500	520
◇トタン釘（キロ）			
13×38	360	350	360
◇ステンレス釘（スクリュー）			
16×25	1,960	2,000	2,050

国際相場動向

8月14日入電（現地13日）

銅下落、ドル高など映す

LME 13日のロンドン金属取引所（LME）の銅相場は、ドル高と長引く中東紛争に伴う世界経済の成長懸念を背景に下落した。

銅3カ月物は、日本時間14日午前1時時点で0.04%安の1㌧＝1万4126.50㌦となった。前営業日は0.2%安となった。

銅相場は、米国以外での在庫引き締まりを背景に、1週間前には6カ月ぶりの高値を付けていた。

ウィズダムツリーの商品ストラテジスト、ニテシュ・シャー氏は、「市場の需給逼迫は明らかだ。しかし、世界経済には多くの疑問もあり、ドル相場を抑制している」と分析。「中東での戦闘が続く限り、常に経済リスクがつきまとい、本来見込める需要が弱くなりやすい」と指摘した。

イランの高官筋によると、イランと米国は恒久的な停戦に向けた合意締結に向けて努力しているものの、対立が続いている。

ドル指数は13日、約2週間ぶりの高値を付けた。そのため、米ドル建ての商品価格は他の通貨保有者にとって割高になっている。（ロイター時事）

COMEX ■銅＝続落。中心限月9月限の清算値（終値に相当）は0.75㌣安の660.80㌣。（時事）

貴金属概況

ＮＹ金反落

■ＮＹ金＝13日のニューヨーク商品取引所（COMEX）の金先物相場は、利食い売りなどが優勢となり、5営業日ぶりに反落した。中心限月12月物の清算値（終値に相当）は前日比47.10㌦（1.05%）安の1㌅＝4420.40㌦。

7月の米消費者物価指数（ＣＰＩ）がインフレ圧力の緩和を示唆する内容だったことを受け、連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による9月の金融政策決定会合での利上げ観測が幾分弱まり、金相場は前日まで4日続伸。また、前日は中心限月の清算値ベースで約2カ月ぶりの高値を付けた。これを受け、この日は利益確定の売りが先行した。

一方、米労働省が朝方発表した7月の卸売物価指数（ＰＰＩ）は前月比で横ばいと、市場予想（0.2%上昇＝ロイター通信調べ）を下回った。エネルギーと食料品を除いたコア指数の上昇幅は前月比0.2%と、予想（0.3%）を下回った。また、同省が同時刻に発表した最新週の新規失業保険申請は前週比9000件増の20万9000件と、3週連続で悪化した。市場予想も上回った。インフレの落ち着きや労働市場の軟化を示唆する統計を背景に、米長期金利の指標である10年債利回りが一段と低下。金相場は下げ幅を縮小する場面もあったが、一時的な動きにとどまった。

市場は、翌14日に発表される7月の米小売売上高に注目している。（ニューヨーク時事）

■ロンドン金＝13日のロンドン金相場は3日ぶりに反落。午後4時15分現在は、前日同時刻比57.52㌦（1.30%）安の1㌅＝4369.43㌦。（ロンドン時事）

■ＮＹ銀＝先物は反落。中心限月9月限の清算値（終値に相当）は70.7㌣安の6499.3㌣。

現物は米東部時間午後0時58分時点で、1.2%安の6451㌣。（ロイター時事）

■ＮＹ白金＝白金は3日ぶりに反落した。10月限の清算値（終値に相当）は前日比37.10㌦（2.10%）安の1㌅＝1732.20㌦となった。

パラジウムも反落し、9月限の清算値は前日比48.00㌦（3.49%）安の1325.90㌦となった。

白金相場は前日、中心限月清算値ベースで約2カ月ぶりの高値を付けた。その反動で、この日は利益確定の売りが出やすかったもよう。パラジウムも終日、マイナス圏を軟調に推移した。

米労働省が13日発表した7月の卸売物価指数（ＰＰＩ）は前月比で横ばいとなった。エネルギーと食料品を除いたコア指数の上昇幅は前月比0.2%となった。総合、コアとも市場予想を下回り、前日に発表された消費者物価指数（ＣＰＩ）に続き、インフレ圧力の鈍化が示された。一方、同日発表された新規失業保険申請（8日までの1週間）は、前週比9000件増の20万9000件となり、市場予想（20万2000件＝ロイター通信調べ）を上回った。

これらの指標発表後、米長期金利が一段と低下。金利を生まない資産である白金族の相場は、一時下げ幅を圧縮した。（ニューヨーク時事）

非鉄相場配信モーニングコールサービス
早くデータが欲しいかつ ベテラン を満足したいかつ へ
非鉄相場データを入電当日、
朝7時台からEメール・FAX配信!
※Eメール配信は1契約につき2アドレスまで登録OK
海外コース LME・COMEX・貴金属・レアメタル・上海先物など150以上のデータを網羅
国内コース 海外コース ＋ 国内の銅・鉛・亜鉛・錫建値、黄銅棒り粉質値、東名阪3地区非鉄相場（主要58品種）を配信
▶Eメール配信の場合はエクセル・ワード両ファイルでお渡しするのでデータ管理、情報整理が便利。
お試し期間1週間を設けていますので、お気軽にお申し込み下さい。
料金・データに関するお問い合わせ、お申し込みはこちらまで
▼
https://www.japanmetal.com/soba-deli
産業新聞社 データマネジメント部
TEL:06（7733）7050 E-mail:sangyo@sangyo.co.jp

海外非鉄News

韓コリアジンク1―6月 売上高・営業益とも最高

亜鉛世界大手の韓国のコリアジンクがこのほど発表した2026年度上期（1―6月）決算は、売上高が前年同期比63%増の12兆4450億㌆（約1兆4000億円）、営業利益が2・5倍の1兆3330億㌆（約1500億円）といずれも過去最高だった。金属価格の高騰を受けて銀、金、亜鉛のほかビスマスなどのレアメタルも売り上げが大きく伸びた。

品種別の売上高は銀が3倍増の4兆1080億㌆、金が59%増の1兆2250億㌆、亜鉛が23%増の1兆5630億㌆、鉛が10%増の7170億㌆、銅が52%増の3340億㌆だった。

レアメタルはビスマスが82%増の400億㌆、インジウムが11%増の300億㌆となった。

ユミコア1―6月 EBITDA34%増

ベルギーのリサイクル製錬大手ユミコアがこのほど発表した2026年度上期（1―6月）決算は、調整済みの金利・税・償却前利益（EBITDA）が前年同期比34%増の5億7700万㌆（1060億円）だった。触媒、リサイクルなど全ての事業で増益を達成。通期のEBITDAは10億㌆を超えるとみている。

上期のセグメント別EBITDAは、触媒が8%増の2億5000万㌆。自動車用触媒の販売はほぼ横ばいだったが、貴金属化学品の売り上げが伸びた。燃料電池向けなどは減少した。

リサイクルは36%増の2億5900万㌆。宝飾品・工業用金属の需要が強く、金属価格上昇も追い風となった。特殊材料は49%増の8800万㌆。コバルトやゲルマニウムの引き合いが強かった。電池材料は1000万㌆（前年同期は2100万㌆の損失）だった。

銅生産1―6月15.7万㌧

ルンディン カセロネス25%増

カナダの鉱山大手ルンディン・マイニングがこのほど発表した2026年度上期（1―6月）の銅生産量は、前年同期比3%増の15万6811㌧だった。

チリのカセロネス鉱山などで生産が伸びた。副産物は金が7%減の6万4964㌔（約1・8㌧）、モリブデンが61%増の967㌧だった。

JX金属が25%出資するカセロネスの銅生産量は、25%増の7万2516㌧（権益100%ベース）。内訳は精鉱が27%増の5万8250㌧、電気銅が16%増の1万4266㌧だった。

カセロネスは7月に厳しい冬の天候影響で一時的に操業を中断したが、生産量はほぼ想定通り推移した。年間生産見通しも13万―14万㌧で変更ない。

Nハイドロの低炭素アルミ GMのEV部材に供給

ノルウェーのアルミ大手ノルスク・ハイドロ・ハイドロはこのほど、米ゼネラル・モーターズ（GM）のEVに高リサイクル率アルミ「ハイドロ・サーカル」を供給すると発表した。「キャデラック・OPTIQ」のフロントバンパーシステム向けに提供予定。構造・安全上重要な自動車部品への採用は、米国での初期の実用事例の一つと捉える。同材は使用済み製品由来のスクラップを75%以上含む。

同材は使用済み自動車や窓、ドア、電線などから回収したアルミを再溶解して製造する。ミシガン州のリサイクル工場が手掛ける。自動車部品メーカーのシェイプが、GMの仕様に基づき同システムを設計・組み立て搭載する。現地での調達・生産により、米国内の生産基盤と供給網の強靱化にもつなげる。

日刊産業新聞公式
Instagram はじめました
Instagram
取材先の写真や情報を配信しています。
ぜひご覧ください。
SANGYO_PRESS Follow Me!!

国際非鉄金属相場

LME相場

2026年8月14日入電(現地8月13日) （単位：ドル／トン）

出来高はロット数、1ロットは銅・鉛・亜鉛・アルミHGが25㌧、アルミ合金が20㌧、ニッケル6㌧、錫5㌧、コバルト1㌧、モリブデン純分6㌧

			12日	13日
◇銅Aグレード				
現物	前場	買	14375.00	14284.00
		売	14376.00	14285.00
	終値		14294.25	14394.14
先物	前場	買	14200.00	14080.00
		売	14201.00	14082.00
	終値		14132.00	14148.50
セツルメント			14376.00	14285.00
出来高(ロット)			152345	175675
前月セツル平均			13525.17	13525.17
◇鉛				
現物	前場	買	1879.50	1855.00
		売	1880.00	1856.00
	終値		1867.00	1843.44
先物	前場	買	1918.00	1899.00
		売	1919.00	1901.00
	終値		1909.50	1887.00
セツルメント			1880.00	1856.00
出来高(ロット)			109524	123331
前月セツル平均			1844.09	1844.09
◇亜鉛SHG				
現物	前場	買	3850.00	3805.00
		売	3852.00	3806.00
	終値		3834.22	3841.01
先物	前場	買	3779.00	3727.00
		売	3780.00	3727.50
	終値		3757.00	3751.50
セツルメント			3852.00	3806.00
出来高(ロット)			149655	125457
前月セツル平均			3596.11	3596.11
◇ニッケル				
現物	前場	買	16715.00	16680.00
		売	16725.00	16690.00
	終値		16741.10	16575.69
先物	前場	買	16900.00	16830.00
		売	16940.00	16850.00
	終値		16948.00	16776.00
セツルメント			16725.00	16690.00
出来高(ロット)			107369	99117
前月セツル平均			16657.39	16657.39
◇コバルト				
現物	前場	買	55350.00	55355.00
		売	55850.00	55855.00
先物	前場	買	55790.00	55790.00
		売	56290.00	56290.00
セツルメント			55850.00	55855.00
出来高(ロット)			14	0
前月セツル平均			55873.04	55873.04

			12日	13日
◇錫HG				
現物	前場	買	56000.00	56100.00
		売	56050.00	56150.00
	終値		55550.00	55564.00
先物	前場	買	56250.00	56250.00
		売	56300.00	56300.00
	終値		55818.00	55854.00
セツルメント			56050.00	56150.00
出来高(ロット)			6850	9735
前月セツル平均			53101.74	53101.74
◇アルミHG				
現物	前場	買	3307.00	3278.00
		売	3307.50	3279.00
	終値		3315.07	3264.93
先物	前場	買	3308.00	3274.00
		売	3308.50	3275.00
	終値		3310.50	3258.50
セツルメント			3307.50	3279.00
出来高(ロット)			314014	238482
前月セツル平均			3155.98	3155.98
◇アルミ合金				
現物	前場	買	3190.00	3190.00
		売	3200.00	3200.00
	終値		3200.00	3200.00
先物	前場	買	3190.00	3190.00
		売	3200.00	3200.00
	終値		3200.00	3200.00
セツルメント			3200.00	3200.00
出来高(ロット)			0	0
前月セツル平均			3261.74	3261.74
◇北米特殊アルミ合金(NASAAC)				
現物	前場	買	2740.00	2740.00
		売	2750.00	2750.00
	終値		2750.00	2750.00
先物	前場	買	2740.00	2740.00
		売	2750.00	2750.00
	終値		2750.00	2750.00
セツルメント			2750.00	2750.00
出来高(ロット)			0	0
前月セツル平均			2750.00	2750.00

LME在庫

	11日現在	12日現在		(トン)
銅	212,125	207,725	⊖	4,400
錫	5,590	5,535	⊖	55
鉛	417,075	414,375	⊖	2,700
亜鉛	95,350	92,550	⊖	2,800
アルミHG	251,700	250,000	⊖	1,700
アルミ合金	1,500	1,500		0
ニッケル	264,744	264,732	⊖	12

上海先物取引所在庫

	8月7日	前週	増減	(トン)
銅	70,116	69,334	⊕782	
アルミ	435,739	448,742	⊖13,003	
亜鉛	151,657	151,530	⊕127	
鉛	70,698	71,617	⊖919	
ニッケル	113,251	111,974	⊕1,277	

COMEX相場

2026年8月14日入電（現地8月13日）

	寄付	高値	安値	引値	セツルメント	前日セツルメント
◇銅（ドル／ポンド）						
26年08月	6.5500	6.5500	6.5000	6.5000	6.5925	6.5970
26年09月	6.6050	6.6385	6.4955	6.5895	6.6080	6.6155
26年10月	6.6370	6.6665	6.5450	6.6185	6.6400	6.6475
26年11月	6.6525	6.6980	6.6210	6.6690	6.6740	6.6810
26年12月	6.7010	6.7365	6.5950	6.6915	6.7065	6.7135
27年01月	6.7125	6.7365	6.6910	6.7365	6.7350	6.7415
27年02月	6.7440	6.7750	6.7000	6.7750	6.7665	6.7735
27年03月	6.7955	6.8255	6.6940	6.7755	6.7985	6.8055
出来高77154枚		（1枚＝12.5ショートトン）			（前日79859枚）	
◇金（ドル／トロイオンス）						
26年08月	4403.50	4445.00	4350.00	4352.20	4363.60	4408.90
26年09月	4418.20	4457.90	4352.00	4358.40	4371.40	4418.40
26年10月	4434.70	4475.30	4368.50	4374.40	4387.30	4434.30
26年11月	4442.10	4488.00	4389.10	4389.10	4404.50	4451.60
26年12月	4468.80	4509.10	4400.00	4407.10	4420.40	4467.50
27年01月	4445.60	4446.20	4445.50	4446.20	4439.70	4487.00
27年02月	4503.80	4541.90	4435.10	4440.50	4455.70	4503.40
27年03月	4480.00	4485.40	4460.00	4468.00	4471.20	4519.30
出来高152889枚					（前日186126枚）	
◇銀（ドル／トロイオンス）						
26年08月	64.7800	64.7800	64.7800	64.7800	64.8730	65.5550
26年09月	65.4550	66.4500	64.3150	64.5850	64.9930	65.7000
26年10月	65.7850	66.3000	64.5850	64.8750	65.2250	65.9370
26年11月	66.5550	66.7900	65.2950	65.5900	65.4820	66.1990
26年12月	66.2100	67.2000	65.0600	65.3300	65.7300	66.4580
27年01月	66.3150	66.5000	65.9100	66.5000	66.0190	66.7590
27年02月	66.1400	66.1400	66.1400	66.1400	66.2540	66.9980
27年03月	66.8000	67.0950	65.9800	65.9800	66.4830	67.2240
出来高62482枚					（前日76573枚）	
◇プラチナ（ドル／トロイオンス）						
26年08月	—	—	—	—	1725.20	1761.10
26年09月	1752.30	1753.60	1717.20	1717.20	1728.10	1764.70
26年10月	1761.10	1777.70	1717.80	1724.40	1732.20	1769.30
出来高16363枚					（前日17322枚）	
◇パラジウム（ドル／トロイオンス）						
26年08月	—	—	—	—	1322.60	1370.20
26年09月	1371.00	1382.00	1310.50	1312.00	1325.90	1373.90
26年10月	1329.50	1329.50	1329.50	1329.50	1331.40	1379.20
出来高5829枚					（前日6779枚）	

COMEX在庫

（単位:銅はトン、金・銀はトロイオンス）

	12日	13日	増減
銅	731,232	733,653⊕	2,421
金	26,609,026	26,612,241⊕	3,215
銀	335,432,146	335,427,343⊖	4,803

COMEX取組残高

	8月12日	増減
銅	292,732	⊖4,315
金	403,662	⊕3,353
銀	116,935	⊕1,808

上海先物相場 (SHFE)

（単位:トン当たり元、増値税込）

	現地08月13日	8月	9月	10月	11月	12月
銅	セツルメント	108320	107820	107640	107370	107270
	出来高(5トン/ロット)	16,025	90,642	56,521	11,732	7,328
	前日セツルメント	108580	108170	108020	107830	107710
アルミ	セツルメント	24115	24160	24160	24120	24110
	出来高(5トン/ロット)	3,770	154,596	100,414	23,142	9,778
	前日セツルメント	24305	24345	24360	24345	24295
亜鉛	セツルメント	25575	25705	25750	25745	25750
	出来高(5トン/ロット)	1,305	110,822	80,450	15,674	3,563
	前日セツルメント	25650	25680	25730	25715	25680
鉛	セツルメント	15900	15965	15985	16015	16040
	出来高(5トン/ロット)	15	49,406	36,814	2,849	65
	前日セツルメント	15875	15875	15885	15935	15965
ニッケル	セツルメント	128460	128740	128950	129170	129480
	出来高(1トン/ロット)	480	163,883	51,825	10,297	2,925
	前日セツルメント	128170	128530	128800	129060	129390

欧州レアメタル価格

8月14日入電 （現地8月13日）（単位:ドル、カッコ内は円/キロ）

アンチモン99.65%（トン）
22000 — 24000(3,529—3,850)

ビスマス99.9%（ポンド）
24.25 — 25.70(8,576—9,089)

カドミウム99.99%（ポンド）
1.73 — 1.83(612—647)

クロム・中国産99%アルミテルミット品（トン）
11500 — 12000(1,845—1,925)

コバルト・カソード99.8%（ポンド）
31.25 — 32.25(11,052—11,406)

ガリウム99.99%（キロ）
3000.0 — 3500.0(481,260—561,470)

ゲルマニウム50Ω/cm（キロ）
13000 — 14250(2,085,460—2,285,985)

二酸化ゲルマニウム99.99%（キロ）
5500 — 5700(882,310—914,394)

インジウム99.99%（キロ）
812.50 — 850.00(130,341—136,357)

イリジウム99.99%（トロイオンス） 〔円／グラム〕
7830 — 7850(40,385—40,488)

マグネシウム・中国産99.9%（トン）
2600 — 2600(417—417)

マンガン99.7%（トン）
2900.0 — 2900.0(465—465)

フェロマンガン75—76%（トン）
1290 — 1290(207—207)

三酸化モリブデン・欧州産57%（Mo純分ポンド）
31.00 — 33.50(10,964—11,848)

フェロモリブデン・欧州産65%（Mo純分キロ）
78.00 — 78.00(12,513—12,513)

ロジウム99.99%（トロイオンス） 〔円／グラム〕
⊕8755 — ⊕8775(45,155—45,258)

ルテニウム99.99%（トロイオンス） 〔円／グラム〕
1671.0 — 1675.0(8,619—8,639)

セレニウム99.5%（ポンド）
13.50 — 15.75(4,774—5,570)

シリコン・インゴット98.5%（トン）
1900 — 1900(305—305)

フェロシリコン75%（トン）
1800 — 1800(289—289)

スポンジチタン99.5%（キロ）
11.25 — 12.50(1,805—2,005)

フェロタングステン（キロ）
250.00 — 260.00(40,105—41,709)

タングステンＡＰＴ（WO_3純分10%㍍）
3300.0 — 3300.0(52,939—52,939)

フェロバナジウム80%（V純分キロ）
30.00 — 32.00(4,813—5,133)

五酸化バナジウム50%（V_2O_5純分ポンド）
5.50 — 5.80(1,945—2,051)

タンタル鉱石30—35%（ポンド）
280.00 — 280.00(99,026—99,026)

外為相場（三菱UFJ銀行）

ＴＴＳの推移（円）

	米ドル	英ポンド	ＥＵＲ（ユーロ）	人民元（参考値）
7月21日	163.55	222.42	187.05	24.32
22日	164.21	222.46	187.61	24.41
23日	164.12	222.24	187.69	24.38
24日	165.01	222.44	188.09	24.50
27日	164.69	222.54	188.11	24.48
28日	164.82	221.73	187.76	24.51
29日	164.69	221.59	187.88	24.47
30日	164.51	222.40	188.80	24.48
31日	161.72	220.33	186.62	24.11
8月 3日	156.79	214.18	181.36	23.39
4日	158.42	215.43	182.67	23.59
5日	158.56	215.98	183.21	23.65
6日	158.79	216.54	183.87	23.69
7日	159.64	217.39	184.25	23.81
10日	158.98	217.15	184.09	23.72
12日	160.39	219.32	185.45	23.92
13日	160.40	219.14	185.24	23.93
14日	160.42	219.20	185.44	23.93

米国非鉄金属価格

8月14日入電 （現地8月13日）

パラジウム(㌔)	1321.25—	1327.25㌦
プラチナ(㌔)	1723.75—	1729.45㌦

アルミ地金・原料

▽LME先物終値(ドル) ▼3258.5— —
▽対日オファー価格（99.7%）(7—8月積み)
トン当たりドル CIF ▼3624.5— ▼3629.5
▽輸入採算価格（7—8月積み）
トン当たり円 ▼616300— ▼617200
▽6月の輸入通関平均単価（99.0—99.9%）
トン当たり円 593800
【アルミニ次合金・原料】
▽対日スクラップ・オファー価格
ポンド当たりセント
テンス CIF 119.0
テイント・テーパー CIF 119.0
リ ソ CIF 182.0
▽対日ロシア産再生地金オファー価格
トン当たりドル CIF 3630
▽ADC12オファー価格
トン当たりドル CIF 4080
▽対日ADC12輸入採算価格
トン当たり円 500000
▽ADC12国内理論値
トン当たり円 570000

欧米自由貴金属相場

8月14日入電(現地8月13日)
単位:トロイオンス当たり、カッコ内は前営業日

▽ロンドン金約定値・現物(ドル)
午 前 — (—)
午 後 — (—)
引 値 4368.99 ～ 4370.10
(4426.68 ～ 4427.15)
▽ロンドン・プラチナ
午 前 — (—)
午 後 — (—)
▽ロンドン・パラジウム
午 前 — (—)
午 後 — (—)
▽ロンドン銀(スポット)〈ポンド建て〉
現 物 — (—)
▽ロンドン銀〈米セント建て〉
現 物 — (—)
▽米エンゲルハード金
地 金 4394.00㌦ (4430.00㌦)
加 工 4723.55㌦ (4762.25㌦)
▽同 銀
地 金 6530.00㌣ (6630.00㌣)
加 工 7836.00㌣ (7956.00㌣)
▽米ハンディハーマン金地金
— (—)
▽同 銀地金
6466.50㌣ (6580.60㌣)
▽クルーガーランド金貨
4338.00 ～ 4341.00㌦
(4376.00 ～ 4379.00㌦)
▽ジョンソン・マッセイ社白金族建値
プラチナ 1,733㌦ (1,788㌦)
パラジウム 1,335㌦ (1,393㌦)
イリジウム 7,850㌦ (7,850㌦)
ロジウム 8,800㌦ (8,725㌦)
ルテニウム 1,675㌦ (1,675㌦)
▽ニューヨーク為替引値
ポンド 1.3485 ～ 1.3487
円 159.48 ～ 159.50
ユーロ 1.1527 ～ 1.1530

関東故銅 商い閑散

休暇明け、高値調達予想も

14日の関東地区故銅市況は商い閑散。市中では16日まで夏季休暇としている問屋がほとんどで、実商いは非常に少なかった。5月上旬頃から続く発生薄を受け、直納問屋からは来月メーカー納入分の仕入れを不安視する声が出ている。特に1号銅線や赤ナゲットは問屋在庫が減少傾向にあり、「休暇明けから仕切り値を上げて集荷に動く問屋が増えてきそうだ」（関東の直納問屋幹部）との見方が寄せられる。

現地13日のロンドン金属取引所（LME）銅現物セツルメントは前日比トン91ドル安の1万4285ドル。ドル高や中東紛争の長期化に伴う経済リスクが銅相場を押し下げた。

ニューヨーク商品取引所（COMEX）の当限セツルメントはポンド0・0045ドル安の6・5925ドル（トン換算1万4533ドル）。LMEカーブは16・5ドル安の1万4148・5ドルだった。

14日の東京為替TTSは前日比0・02円円安ドル高の1ドル＝160・42円。輸入採算値はLMEベースで2337万6000円、COMEXベースで2417万5000円になった。

新切れ黄銅セパはキロ1560―1570円あたりが値頃。地場の自動車部品などの加工工場の稼働は軒並み低水準にとどまり、銅系ワワ物と同様に長契分の手当てに苦戦する問屋が散見される。入札案件では「利幅を犠牲にした高値調達の動きがまだ見られる」（問屋筋）ようだ。

垂直設置型の太陽光発電実証

四国化成建材、セブンで

四国化成建材（本社＝香川県丸亀市、眞鍋宣訓社長）はこのほど、セブンイレブン・ジャパンと連携し、セブンイレブン四国中央中曽根町店で、垂直設置型太陽光発電「ソリスパネル」の共同実証運用を7月から開始したと発表した。主要材質にアルミ押出形材を採用し、屋上への設置が難しい店舗などでも省スペースで創エネを導入できる。

実証では10スパンを設置し、年間発電量3800キロワット時以上、年間1・43トン以上の二酸化炭素削減を見込む。同社は実証で得た知見をもとに、全国のロードサイド店舗などへの拡販を進める。

4―6月業績

貴金属が赤字転落

中外鉱業　貴金属事業は増収減益。貴金属価格が四半期末に大きく下落した影響で棚卸資産評価損を計上し、営業損益は3億4400万円の赤字（前年同期は1億7000万円の黒字）となった。機械事業は中小企業の設備投資が減少傾向にあったものの、内外需ともに堅調に推移したことを受け増益を確保した。

4―6月期連結決算

（単位：100万円、中段は前年同期、下段は通期予想）

売上高	営業利益	経常利益	純利益
東邦亜鉛			
31,104	▼250	▼581	259
26,874	▼853	▼1,078	▼1,111
178,500	6,700	4,500	3,450

4―6月期連結決算

（単位：100万円、中段は前年同期、下段は通期予想）

売上高	営業利益	経常利益	純利益
中外鉱業			
74,289	▼525	▼551	▼555
57,834	199	162	159
300,000	1,770	1,600	1,000

様子見

中部アルミ原料動向

中部地区のアルミ原料動向は様子見。

先週は合金各社と原料問屋がともに夏季休暇に入っており、市中の荷動きはほとんどみられなかった。

ロンドン金属取引所（LME）アルミ新塊相場がトン3200ドル台後半まで上昇し、外国産のADC12やベースメタルはドルベースで小幅に値を戻している。

合金各社の手元在庫は潤沢で休暇明けも荷物の集荷を急ぐ様子はない。アルミ削り粉は荷余りが続く。

8月前半の時点では熊本地震の影響で一部合金需要が低調に推移した。8月後半の交渉は生産回復の動きを見極めながらの展開となりそうだ。

中部地区合金メーカー購入平均価格

（本社調べ、キロ当たり円、問屋置き場現金）

	8月14日	
○新切れ	505―	510
○63S	505―	510
○一品合金	497―	502
○印刷板	507―	512
○機械鋳物	355―	360
○ビス付きサッシ	415―	420
○合金新	407―	412
○合金削り粉	281―	286
○缶プレス(A)	408―	413
○国内産ベースメタル	465―	470
オファー価格(CIF、トン当たりドル)		
▽外国産ベースメタル	◉3,080―	◉3,130
▽金属シリコン	1,450―	1,500

希土類（レアアース）価格

（CIF日本、純分99%、キロ当たりドル）

	8月14日	7月平均
酸化ランタン	1.58	1.56
酸化セリウム	2.82	2.75
酸化プラセオジム	129.50	131.23
酸化ネオジム	129.00	129.55
酸化サマリウム	6.75	7.50
酸化ユウロピウム	26.40	26.20
酸化テルビウム	1135.50	1115.50
酸化ジスプロシウム	253.50	245.39
酸化イットリウム	33.50	31.45
金属ネオジム	151.00	151.55
金属ジスプロシウム	320.00	317.14
金属プラセオジム・ネオジム	136.00	133.68

今後の主要経済日程（現地日付）

8月

- 17日（日）　GDP速報値（4-6月期）
- 17日（中）　都市固定資産投資の年初来累計（7月）
- 18日（米）　新規住宅着工件数（7月）
- 25日（米）　消費者信頼感指数（8月）
- 25日（米）　新築住宅販売戸数（7月）
- 26日（米）　耐久財受注（7月）
- 28日（米）　ミシガン大消費者信頼感指数・確報値（8月）
- 31日（中）　製造業購買担当者景気指数PMI（8月）

9月

- 1日（欧）　失業率（7月）
- 1日（米）　ISM製造業購買担当者景気指数（8月）
- 2日（米）　雇用統計（8月）
- 2日（米）　製造業新規受注（7月）
- 3日（米）　貿易収支（7月）
- 4日（米）　非農業部門雇用者数（8月）
- 4日（米）　失業率（8月）
- 8日（中）　貿易収支（8月）
- 9日（中）　生産者物価指数（8月）
- 9日（中）　消費者物価指数（8月）
- 10日（米）　生産者物価指数（最終需要）（8月）
- 10日（米）　中古住宅販売件数（8月）
- 11日（米）　消費者物価指数季調値（8月）
- 11日（米）　ミシガン大学消費者信頼感指数・速報値（9月）

国際地金価格換算　14日

	LMEセツル	日本円換算	理論輸入採算値
◎銅Aグレード	14,285.0ドル	2,291,599円	2,375,538円
◎アルミHG	3,279.0ドル	526,017円	557,578円
◎錫HG	56,150.0ドル	9,007,583円	9,057,583円
◎鉛	1,856.0ドル	297,739円	337,739円
◎亜鉛SHG	3,806.0ドル	610,558円	653,558円

（単位：トン当たり）

◎外為TTS　160.42（円、三菱UFJ銀行）

非鉄市中相場

2026年8月14日調べ　◉印は上げ　▼は下げ　※いずれも本体価格のみ

建値（キロ当たり円）

	8月	平均
電気銅	2,380	2,361.500
電気鉛	357	358.900
電気亜鉛	676	670.600

地金（キロ当たり円）	東京（現金）高値	東京（現金）安値	大阪（現金）高値	大阪（現金）安値	名古屋（現金）高値	名古屋（現金）安値	北陸（現金）高値	北陸（現金）安値	九州（現金）高値	九州（現金）安値	北海道（現金）高値	北海道（現金）安値
電気銅	◉2365	◉2360	◉2363	◉2358	◉2363	◉2358	◉2363	◉2358	◉2363	◉2358	◉2365	◉2360
電気亜鉛	663	657	663	657	663	657	663	657	663	657	663	657
蒸留亜鉛	651	645	651	645	651	645	651	645	651	645	651	645
ダイカスト亜鉛	692	686	692	686	692	686	692	686	692	686	692	686
再生ダイカスト（亜鉛2種相当）	546	540	546	540	546	540	546	540	546	540	—	—
再生亜鉛上丁	478	472	478	472	478	472	478	472	478	472	—	—
電気鉛	352	349	352	349	352	349	352	349	352	349	352	349
再生鉛特号	342	337	343	338	343	338	343	338	343	338	—	—
1号	337	332	333	323	333	323	333	323	333	323	—	—
3号	342	338	338	334	338	334	338	334	338	334	—	—
錫1号	◉9370	◉9320	◉9370	◉9320	◉9370	◉9320	◉9370	◉9320	◉9370	◉9320	◉9370	◉9320
アンチモン	3800	3750	3800	3750	3800	3750	3800	3750	3800	3750	3800	3750
ニッケル溶解用	2850	2800	2850	2800	2850	2800	2850	2800	2850	2800	2850	2800
めっき用	2900	2850	2900	2850	2900	2850	2900	2850	2900	2850	2900	2850
コバルト	10100	9800	10100	9800	10100	9800	10100	9800	10100	9800	—	—
セレン	5600	5400	5600	5400	5600	5400	5600	5400	5600	5400	—	—
ビスマス	8300	8200	8300	8200	8300	8200	8300	8200	8300	8200	8300	8200
カドミウム	820	770	820	770	820	770	820	770	820	770	—	—
インジウム	135000	130000	135000	130000	135000	130000	135000	130000	135000	130000	—	—
水銀（フラスコ）	310000	300000	310000	300000	310000	300000	310000	300000	310000	300000	310000	300000
マグネシウム(中国産)	483	463	483	463	483	463	483	463	483	463	483	463
マグネシウム合金	533	513	533	513	533	513	533	513	533	513	533	513
アルミ地金99.7%	▼635	▼631	▼633	▼629	▼633	▼629	▼633	▼629	▼633	▼629	▼635	▼631
アルミ二次地金 99%	514	509	514	509	514	509	514	509	509	504	—	—
97%	497	492	497	492	497	492	497	492	492	487	497	492
90%	470	465	470	465	470	465	470	465	470	465	463	458
脱酸用94%B塊	563	558	564	559	561	556	561	556	563	558	—	—
二次合金地金（小口） ADl2.1	659	654	659	654	659	654	659	654	—	—	—	—
鋳物用AC2B	683	678	684	679	683	678	683	678	—	—	—	—
ハンダ錫 60%	6565	6535	6545	6505	6545	6505	6545	6505	6545	6505	6565	6535
50%	5595	5565	5575	5525	5575	5525	5575	5525	5575	5525	5595	5565
40%	4630	4600	4675	4615	4675	4615	4675	4615	4675	4615	4630	4600
減摩合金 1種	9865	9840	9860	9830	9860	9830	9860	9830	9860	9830	9865	9840
2種	9575	9545	9570	9540	9570	9540	9570	9540	9570	9540	9575	9545
4種	8150	8120	8145	8120	8145	8120	8145	8120	8145	8120	8150	8120
青銅合金地金 CACIn402	2600	2590	2935	2925	2930	2920	2600	2590	—	—	—	—
〃 403	2660	2650	3075	3065	3075	3065	2670	2660	3075	3065	—	—
〃 406	2350	2340	2570	2560	2560	2550	2340	2330	2560	2550	—	—
〃 407	2450	2440	2715	2705	2710	2700	2440	2430	—	—	—	—

建値（単位：キロ当たり円、金のみグラム当たり円）（月間平均）

金(14日)	—	電気銅(99.995%以上)	10,450　10,450
銀(14日)	331,600	インジウム(大口)	135000
◇山元故銅買値(99%)	2070		

近畿青銅会標準販価　8月3日発表

CACIn401	2225	CACIn406	2530	YBSC3種	1890
〃 402	2905	〃 407	2675	LBC3種	2895
〃 403	3045			PBC2種	3085

非鉄スクラップ相場

2026年8月14日調べ　◉印は上げ　▼は下げ　※いずれも本体価格のみ

（キロ当たり円）	仲間現金（数量規模1トン以上、持ち込み価格）東京	大阪	名古屋	富山	北九州	札幌	地方向け原料買入価格 東京	大阪	名古屋
1号銅線	2195	2196	2198	2195	2188	2176	2175	2181	2178
2号銅線	—	2154	2148	2145	2150	—	—	2139	2128
上銅（新切れ）	2163	2167	2169	2166	2159	2148	2143	2152	2149
〃（普通）	2142	2142	2149	2126	2135	—	2122	2127	2129
並銅	2094	2109	2098	2095	2101	2074	2074	2094	2078
下銅（製錬向け）	2064	2090	2070	2064	2090	2044	2044	2075	2050
銅削り粉（純銅）	2064	2070	2067	2064	2062	2044	2044	2055	2047
銅滓（30%）	25	25	25	—	23	—	15	17	14
1号薬きょう	1476	—	—	—	—	—	1456	—	—
2号〃	1466	—	—	—	—	—	1446	—	—
新切黄銅（セパ）	1565	1567	1570	1565	1565	1550	1545	1552	1550
〃（コーペル）	1497	1489	1514	1514	1488	1482	1477	1474	1494
新黄銅棒コロ	1485	1486	1501	—	1486	1470	1465	1471	1481
黄銅削り粉	1480	1480	1464	1462	1478	1465	1460	1465	1444
交差（半銅）ラジ	1211	1217	1218	1213	1183	—	1191	1202	1198
黄銅鋳物	—	1274	1270	1268	1263	—	—	1259	1250
込み黄銅	1260	1269	1255	1255	1260	—	1240	1254	1235
上青銅鋳物	—	1837	1832	1830	1828	—	—	1822	1812
並〃	1827	1833	1825	1824	1825	1807	1807	1818	1805
上青銅鋳物削粉	—	1830	1827	1825	1822	—	—	1815	1807
並〃	1811	1820	1810	1808	1812	1791	1791	1805	1790
新切リン青銅									
〃 伸銅向け	2194	—	2200	2196	—	—	2174	—	2180
〃 青銅向け	—	2038	1952	1947	2035	—	—	2023	1932
〃 削り粉	1868	1867	1872	1868	1851	—	1848	1852	1852
洋白（ばね材）	1872	1874	1823	1820	1870	—	1852	1859	1803
〃（かぎ材）	1376	1367	1430	1428	1363	—	1356	1352	1410
新切亜鉛	322	322	325	320	320	—	—	—	—
合金亜鉛	298	298	301	296	297	—	—	—	—
亜鉛ドロス	294	305	294	—	285	—	—	—	—
上鉛	232	233	229	229	235	—	—	—	—
電池巣鉛	185	—	—	—	—	—	—	—	—
活字鉛	222	224	219	219	—	—	—	—	—
アルミ電線1級	460	464	465	461	464	—	—	441	440
新切アルミ1級	434	444	445	443	443	372	—	421	420
〃 2級	421	434	433	—	—	—	—	411	408
Aサッシ	437	447	451	452	447	—	—	425	426
印刷板	445	450	455	450	—	—	—	428	430
一品合金	427	445	—	445	—	—	—	425	—
合金アルミ新	401	419	418	—	418	350	—	394	393
新機械鋳物	440	435	—	432	—	386	—	406	—
ホイール(ミックス)	334	346	337	—	—	262	—	345	312
機械鋳物アルミ	312	306	310	309	304	220	—	276	285
Bサッシ(プレス物)	355	353	355	—	—	262	—	328	330
合金削り粉	229	227	227	230	227	172	—	197	202
込みガラ	199	197	197	202	195	148	—	172	172
缶プレス（A）	380	382	382	—	—	307	—	362	357
アルミ缶（バラ）	353	362	360	384	—	281	—	342	335

伸銅品

（仲間店頭渡し、現金キロ当たり）

	東京	大阪	名古屋
銅小板（365×1200ミリ） 2.0ミリ	2720	2740	2740
0.3ミリ	2770	2790	2790
銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ	2920	2870	2870
銅条 1.5×100ミリ	2735	2705	2705
銅線 0.9ミリ	2750	2730	2730
銅帯 6×50ミリ	2690	2610	2620
平角線 3×50ミリ	2920	2930	2925
銅管 50×5ミリ	2920	2830	2810
銅棒 25ミリ	2705	2650	2650
黄銅小板（365×1200ミリ） 2.0ミリ	2100	2135	2145
0.3ミリ	2130	2165	2165
黄銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ	2280	2285	2295
黄銅線 6ミリ	2280	2320	2320
黄銅平角線	2490	2520	2515
黄銅条 1×100ミリ	2115	2080	2090
黄銅管 50×5ミリ	2580	2710	2680
黄銅棒 25ミリ快削	1830	1800	1800
10ミリ〃	1840	1810	1810
5ミリ〃	1890	1860	1860
六角棒 25ミリ	1860	1830	1830
四角棒 25ミリ	1890	1860	1860
カドミレス(丸) 25ミリ	1890	1860	1860
カドミレス(六角) 25ミリ	1920	1890	1890
鍛造用 25ミリ	1870	1840	1840
ネーバル 25ミリ	1970	1940	1940
高力 25ミリ	1970	1940	1940
リン青銅板 一般用 1.0ミリ	5370	5360	5375
0.5ミリ	5415	5400	5410
バネ用 1.0ミリ	5800	5740	5720
リン青銅棒 25ミリ	5060	5090	5105
リン青銅線 3.0ミリ	6030	5980	6005
洋白板 一般用 1.0ミリ	5190	5020	5035
0.5ミリ	5165	5070	5085
バネ用 1.0ミリ	5210	5040	5030

非鉄製品相場

2026年8月14日 調べ
◉印は上げ　▼は下げ
※いずれも本体価格のみ

軽圧品（仲間現金キロ当たり）

	東京	大阪
◇アルミ小板 (99%以上)(400×1200ミリ) 1.0ミリ	1165	1155
0.3ミリ	1195	1185
◇アルミネームプレート板 (99.5%以上)(400×1200ミリ) 0.3ミリ	1195	1185
◇アルミ大板 (99%以上)(1000×2000ミリ) 1.0ミリ	1155	1135
0.3ミリ	1185	1165
◇アルミ円板 (99%以上) 1.0ミリ	1200	1185
◇印刷用アルミ板 (0.3×1000×800ミリ) 写真用	1200	1185
◇アルミ合金板 (1×1000×2000ミリ) A6061P(61S)	1735	1720
A2017P(17S)	1765	1650
A5052P(52S)	1205	1195
◇カラーアルミ大板 (1000×2000ミリ) 1.0ミリ	1285	1265
0.5ミリ	1385	1365
◇アルミ線 0.8ミリ	1180	1175
3.0ミリ	1110	1095
◇アルミ合金線 A5052W(52S)	1370	1355
◇アルミ棒 (50ミリ)	1350	1335
◇アルミ快削棒 A2011B50ミリ	1370	1355
◇アルミ合金棒（50ミリ） A2017B(17S)	1350	1340
A2024B(24S)	1630	1615
A5056B(56S)	1310	1295
◇継目無アルミ管 (60×5×5000ミリ)	1570	1555
◇継目無アルミ合金管(60×5ミリ) A5052T(52S)	1680	1670
A5056T(56S)	1690	1675
A6063T(63S)	1540	1565
◇アルミ合金標準形材 (2×20×40ミリ) A6063(63S)	1080	1110
◇角パイプ	1120	1105
◇アルミ条 (1×1000ミリ)	1030	1015
◇アルミ合金条(1×1000ミリ) (52S)	1050	1035
◇アルミ箔 (457×686ミリ) 7ミクロン	1495	1480

鉛錫製品（キロ当たり）

	東京	大阪
◇鉛管 排水管(30―100ミリ)	910	910
◇鉛板 1.0ミリ	633	633
1.5ミリ	613	613
2.0ミリ	593	593
◇線ハンダ 錫40%1.0ミリ	5075	5075
1.6〃	4840	4840
錫50%1.0ミリ	6055	6055
1.6〃	5920	5920
錫60%1.0ミリ	7025	7025
1.6〃	6810	6810

電線（電材渡し価格、メートル当たり、定尺）

	東京	大阪
◇IV (600Vビニル絶縁電線) 1.6ミリ	59.0	59.0
5.5スケア	164.0	164.0
14〃	410	410
38〃	1017	1017
◇CV (架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル) 600V 5.5スケア×3心	537	537
8〃×3〃	733	733
14〃×3〃	1175	1175
22〃×3〃	1835	1835
◇CVT (CVトリプレックス) 600V 38スケア×3心	3048	3048
60〃×3〃	4737	4737
100〃×3〃	7711	7711
6KV 38スケア×3心	5635	5635
60スケア×3心	7699	7699
◇CVV (制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル) 2スケア×3心	238.0	238.0
2〃×4〃	321	321
2〃×6〃	465	465
◇VVR (600Vビニル絶縁ビニルシース丸形ケーブル) 8スケア×3心	686	686
14〃×3〃	1167	1167
22〃×3〃	1812	1812
38〃×3〃	2979	2979
60〃×3〃	4762	4762
◇VVF (600Vビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル) 1.6ミリ×2心	95	95
2.0〃×2〃	184	184
2.6〃×2〃	293	293
1.6〃×3〃	186	186
2.0〃×3〃	281	281
2.6〃×3〃	398	398
◇VCT―F (300Vビニルキャブタイヤ丸形コード) 0.75スケア×2心	65	65
0.75〃×3〃	90	90
0.75〃×4〃	113	113
1.25〃×2〃	92	92
1.25〃×3〃	120	120
1.25スケア×4心	153	153
2〃×2〃	135	135
2〃×3〃	185	185
2〃×4〃	224	224
◇PEW (ポリエステル銅線、キログラム当たり) 1.6ミリ	2540	2540
1.0〃	2560	2560
0.5〃	2640	2640

貴金属（8月14日）
※気配値のみ税抜き

（グラム当たり、Nはノミナル）

	東京	大阪
◇白金（99.95%以上） 気配値	▼8951	▼8951
小売り	▼9862	▼9862
買い取り	▼9440	▼9440
◇パラジウム 気配値	▼6865	▼6865
小売り	—	—
買い取り	—	—
◇金（問屋価格） 気配値	▼22407	▼22407
小売り	▼24548	▼24548
買い取り	▼24192	▼24192
◇銀(99.95%以上、キロ当たり) 気配値	▼340400	▼340400
小売り	▼372460	▼372460
買い取り	▼355410	▼355410
◇メイプルリーフ金貨	(1/4オンス)	(1/10オンス)
売	▼213514	▼87430
買	▼182222	▼73052

（第3種郵便物認可）　〔購読料金（前納）1カ月12,960円（税込）〕

読みやすさと検索機能をさらに追求
日刊産業新聞 DIGITAL プラステキスト +TEXT ◀無料試読はこちら

支社局網
中部支社 名古屋市中区上前津1−4−12 TEL 052(331)3371
中国支社 広島市南区大須賀町14−12 TEL 082(263)5523
北海道支局 札幌市北区北七条西4−8−3 TEL 011(756)1321
福岡支局 福岡市博多区博多駅前3−23−22 TEL 092(472)3887
東北支局 仙台市青葉区大町1−1−8 TEL 022(223)9032
北信越支局 新潟市中央区万代4−2−23 TEL 025(244)7600

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2026年（令和8年）8月17日（月）
第21477号
Since1936

非鉄 （8）

発行所 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
編集局（非鉄部） TEL 03(5566)8772 FAX 03(5566)8182
総務販売局（購読・配達） TEL 03(5566)8778 FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区阿波座1−3−15
TEL 06(7733)7001 FAX 06(7733)7070

中国アルミ熱交材製造、日本市場開拓

販売量29年1万ㇳン目指す

低CO2材などで技術提案

銀邦金属複合材料日本
手島聖英社長

中国のアルミ熱交換器材料メーカーである銀邦金属複合材料は日本市場の開拓を本格化している。2023年12月に日本法人の登記を完了し、名古屋市内に拠点を置く。自動車用熱交換器向けろう付け用クラッド材、ベア材を重点に、低二酸化炭素（CO_2）材やフラックス入りろう材などの技術提案を訴求する。銀邦金属複合材料日本の手島聖英社長に、日本市場での戦略や技術面の強みを聞いた。

――銀邦の企業概要を。

「銀邦金属複合材料は1988年に設立され、本社は江蘇省無錫市にある。主にアルミ材料の製造・販売を手掛け、熱交換器やバッテリー冷却器向けのコイル、シートを供給している。異種金属クラッド材も扱っており、家電や携帯電話、ステンレス熱交換器向けなどにも展開している。従業員は約2000人だ」

――現在の生産体制は。

「日本市場での拡販が目的だ。日本法人は23年12月に登記を完了し、名古屋駅近くのルーセントタワーに事務所を構えた。日本の熱交換器メーカーに対し、中国本社で製造するアルミのコイルや板を販売していく拠点だ。中国本社は中国国内とグローバル市場を担当し、日本法人は日本での拡販と、日本の熱交換器顧客の海外展開支援を担う」

――日本向けに注力する製品は何か。

「自動車用アルミ熱交換器向けのろう付け用クラッド材とベア材だ。具体的にはラジエーター、コンデンサー、エバポレーター、ヒーター、オイルクーラー、インタークーラーなどのチューブ材、フィン材、プレート材がある。電動車ではバッテリー冷却器やチラー向けのプレート材、フィン材にも力を入れている」

――日本市場での販売状況を聞きたい。

「日本向け販売量は22年の年約2700ㇳから、25年には約3500ㇳに増えた。3年間で約30%伸びた形だ。26年は年4500ㇳを目標にしている。毎年30%程度の伸びをさらに目指し、29年には年1万ㇳを目指す」

――日本市場開拓の課題は何か。

「自動車用熱交換器材料は採用まで時間がかかるとみている。品質評価などを経る必要があり、短期間での切り替えは容易ではない。一方で、非自動車分野への拡販も進める。今後は自動車用熱交換器だけでなく、建材用材料や排気ダクト材などにも広げていく」

――日本メーカーに対する強みをどうみるか。

「大きく三つある。第一に低CO_2材だ。リサイクル材やグリーンエネルギー由来の地金を活用し、顧客の低炭素化ニーズに応える。第二にフラックス入りろう材だ。ろう材クラッド層の中にろう材とフラックスの混合層を設ける技術で、熱交換器メーカーのフラックス塗布工程をなくし、コスト低減につなげられる。第三に高強度マグネシウム入り材だ。高強度化により、部材の薄肉化や軽量化、低コスト化に貢献できる」

――低CO_2材の展開状況はどうか。

「3年ほど前から日本市場でPRしているが、まだ大きく進んでいるとは言えない。ただ、26年に入り1社が試作評価を始める段階まで来た。中国のリサイクル地金専門メーカーを自社化し、グリーンエネルギー由来の地金メーカーとも購買契約を結んでいる。供給体制は整いつつある」

――フラックス入りろう材の特徴は。

「通常は熱交換器メーカー側でフラックスを塗布するが、銀邦の材料ではろう材クラッド層の中にフラックスを含める。塗布工程を省けるほか、フラックス量を制御しやすくなる。ろう付け後の残渣低減や品質向上、冷却経路の詰まり防止などにもつながる」

――日系顧客の品質・納期・技術要求にどう対応するか。

「銀邦日本が窓口となり、中国本社と連携して対応する。私がデンソーで30年以上にわたりアルミ材料とろう付けの技術開発に携わってきた経験を生かし、日本の顧客が求める品質、納期、技術要求に対応していく」

――今後の方針を。

「まずは自動車用熱交換器材料で実績を増やす。同時に、建材や排気ダクト材など非自動車分野も開拓する。銀邦の低CO_2材、フラックス入りろう材、高強度材料は日本市場でも提案余地がある。日本法人として中国本社と連携し、日本での拡販と日系熱交換器メーカーのグローバル展開支援を進める」

（増岡 武秀）

日刊産業新聞 26.8.17

主要製品販売数量上振れ

JX金属 AIデータ拠点需要増

26年度

JX金属は2026年度の主要製品の販売数量が当初想定より上振れする見通しだ。AIデータセンター関連の需要拡大が続いているため、薄膜材料の半導体用スパッタリンターゲットは5月公表時の前年度比19%増から21%増へ2㌫上方修正した。

薄膜材料は磁性材ターゲットも7%増見通しへ見直した。インジウム

リン基板は13%増で据え置いたが、中長期的な需要増を見越して生産能力の増強を進めている。タンタル・ニオブ事業はキャパシタ向けタンタル粉末の販売数量を当初の16%増から2%増へと下方修正した。

このほど開催のオンライン決算説明会で川口義之常務執行役員は「販売が鈍化しているわけではない」と説明した。販売単価改善と高収益品へのポートフォリオ転換が理由で、AIデータセンター向けは62%増を見込む。

機能材料の圧延銅箔は当初想定と変わらず5%増を見込む。チタン銅は32%増から33%増へ1㌫上方修正した。AIデータセンター関連の需要拡大を取り込み販売数量は堅調に推移する見通しだ。

東邦亜鉛、5.8億円経常損失

4―6月 銀減産や在庫評価影響

東邦亜鉛が14日発表した2026年4−6月期の連結経常損益は5億8100万円の損失だった。製錬事業部門での銀生産減や在庫評価損により赤字となったが、亜鉛一次製錬からの撤退など事業再編効果が表れ、前年同期（10億7800万円の損失）から改善した。繰延ヘッジ損益に関わる税効果会計の影響などで、当期純損益は2億590万円の黒字となった。

セグメント別の経常損益は、製錬事業部門が24億7900万円の損失（前年同期は4億2200万円の損失）。銀は3月に行った製錬設備の定期点検整備延長で生産が減った。低価法による在庫評価損を14億円計上したことも響いた。

タイヤ向け酸化亜鉛を生産する環境・リサイクル事業部門は2・4倍の5億7400万円。亜鉛相場上昇と円安が追い風になった。金属リサイクル事業部門（旧亜鉛製錬事業）は10億5900万円（同6億7700万円の損失）。亜鉛製錬再編に伴う保有資産売却が貢献した。

電子部材・機能材料事業部門は2%減の6800万円。コイルなどの電子部品はEV向けが減少。電解鉄は米航空機向け需要が堅調ながら、生産体制が追い付かない状況もありわずかな増収にとどまった。

テクニカル

今週の相場

Technical Analysis

8月第3週

▼銅＝ロンドン金属取引所（LME）の現物相場はトン1万4000㌦台での攻防が予想される。8月第1週に5月13日の直近高値1万4097㌦を突破し最高値を塗り替えたため市場は強気。一方で、第1週と第2週はともに上髭の長いローソク足を付けた。この先の高値更新に時間がかかるようだと、徐々に上値が重くなる可能性も出てきそうだ。

8月第2週の現物セツルメント（前場売値）は1万4000㌦台で往って来い。1万4290㌦で寄り付き、11日は1万4424・5㌦まで上値を伸ばした。ただ、8月6日に付けた最高値1万4455㌦を試すとみられる。同値を突破すれば、次の上値抵抗が見当たらない。とりあえず次の節目である1万4500㌦や1万5000㌦が意識されそうだ。

別掲の週間足からはテクニカル面での強さが見て取れる。7月第3週に調整局面が完了するとともに、一時的に割り込んでいた上向きの13週移動平均線（13日時点で1万3644㌦）を回復したことで、マーケット心理は強気に転換した。この流れを引き継ぎ8月第1週は最高値。第2週は1万4000㌦台で堅調だった。

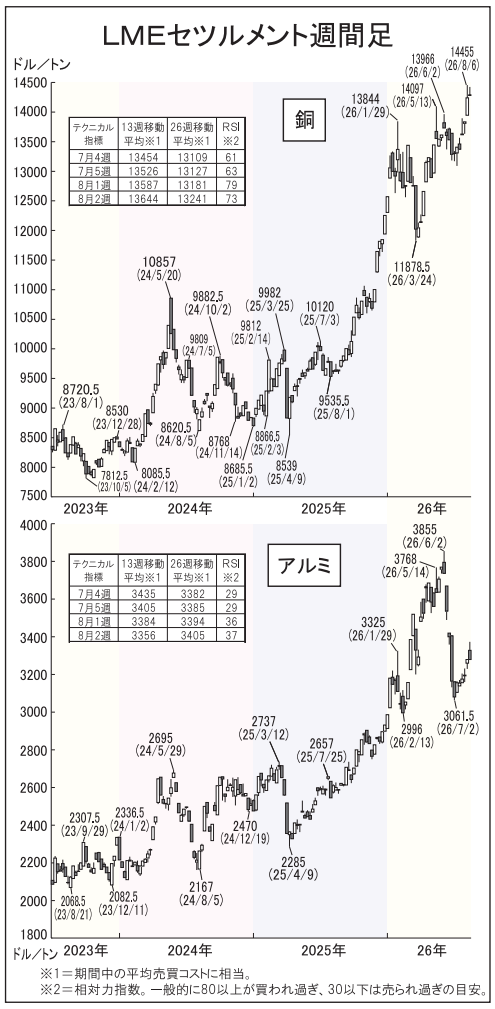
▼アルミ＝LMEアルミの現物相場は、トン3300㌦台の上値抵抗を突破できるかが焦点。6週連続で上値を切り上げるなど自律反発局面のアルミは、過度な悲観の後退で買い戻しが入りやすい。一方で、マーケット心理が悪化した状態は続いており、8月第2週は上髭の長いローソク足を付けた。戻り売り圧力は強そうだ。

8月第2週の現物セツルメントは小反落した。3327・5㌦で寄り付き7週間ぶりに3300㌦台を回復すると、一時3373㌦まで値を伸ばした。その後は売られ、13日は3279㌦だった。7月第1週の3306㌦で寄り付き、11日は1万4424・5㌦まで上値を伸ばした。ただ、8月6日に付けた最高値1万4455㌦を突破できなかったため売りが優勢となり、13日は1万4285㌦だった。

今週も利益確定売りをこなしつつ、8月6日の最高値1万4455㌦を試すとみられる。同値を突破すれば、次の上値抵抗が見当たらない。とりあえず次の節目である1万4500㌦や1万5000㌦が意識されそうだ。

銅、1万4000㌦台の攻防

アルミ、3300㌦突破焦点



重要鉱物リサイクル推進へ

環境省、担当室を新設

環境省は2027年度、海外からの輸入に頼るレアアース（希土類）やレアメタル（希少金属）といった重要鉱物を安定的に確保するため、省内に担当室を新設する方針を固めた。国内で廃棄された製品から資源を取り出し、原材料として再利用する仕組みを構築し、経済安全保障の強化につなげる。

資源循環課内に室長以下7人体制の「重要鉱物等リサイクル事業室」を設ける方向で、同年度機構・定員要求に盛り込む。

中国がレアアースの輸出規制を強化するなど国際的に資源獲得競争が激化している現状を踏まえ、同省は都市鉱山からの回収量を増やし、国内での調達を加速させたい考えだ。

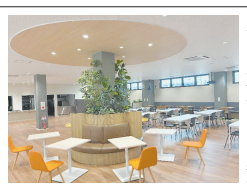
回収した金属などを再製品化するには、まず製造業が求める量と質を確保する必要がある。このため担当室は、回収した機器から資源を取り出し、加工するリサイクル業界と製造業との連携に向けた課題を洗い出し、支援の充実を検討。サプライチェーン（供給網）の強化を目指す。

経済成長に伴い都市鉱山が急増している東南アジア諸国連合（ASEAN）などへの民間企業進出も後押しする。技術支援により各国で機器を適切に回収、解体し、日本国内でリサイクルできる体制の構築を図る。（時事）

WEB産業新聞 https://www.japanmetal.com

三重事業所に厚生棟を新設

SWCC

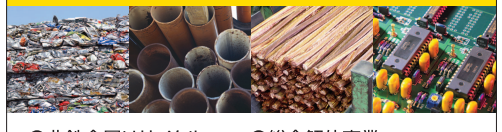

厚生棟内の食堂㊨と厚生棟外観

SWCCはこのほど、三重事業所（三重県いなべ市）に7月末に従業員向けの厚生棟を新設したと発表した。食堂・厨房や更衣室、会議室を有し、大規模災害時には避難所としての活用が可能。建て替えは約50年ぶりで、今月から順次、利用を開始する予定としている。

鉄骨構造の2階建てで、延べ床面積は約1330平方㍍。入り口にはアクセントにコーポレートカラーの赤色を採り入れ、外観ではSWCCのパーパスにある「繋ぐ」をテーマに、つながりや輪の広がりを表現した。断熱性能の高い外壁材を使用するなど、省エネルギーにも配慮した。建設費は非公開だが、相模原事業所内に今春新設した厚生棟と同程度の規模感という。

〝ワケル技術〟で金属リサイクルをサポート
リサイクル処理機メーカー
三立機械工業 株式会社
sanritsu machine industry co.,ltd

Stain-Less Future
サビない未来
信用 信頼 実績 価格 を第一に
ステンレス特殊鋼
伊藤金属商事株式会社
代表取締役社長 伊藤良一
本社工場／愛知県弥富市楠一丁目52番5
飛島工場／愛知県海部郡飛島村元起四丁目92番地
木曽岬工場／三重県桑名郡木曽岬町大字源緑輪中1183-1
TEL (0567) 66-5133・5136
FAX (0567) 66-5173
www.itou-kinzoku-shoji.jp
お問合せ info@itou-kinzoku-shoji.jp

「捨てる」を「活かす」に変える力。

●非鉄金属リサイクル ●総合解体事業
●金属リサイクル ●産業廃棄物処理事業
●被覆電線リサイクル ●一般貨物自動車運送事業
●貴金属およびプリント基盤リサイクル
まずはお気軽にご相談ください。
株式会社 ウエスギ
〒510-8002 三重県四日市市天力須賀新町1-32
TEL.059-365-6800 FAX.059-363-2055
http://www.uesugi-p.co.jp

責任ある調達で未来へ
金属資源の有効利用／銅合金インゴットの製造・販売／美術工芸品の製造・販売
MERF ［証券コード：3168］
MEtal Recycling for the Future
【本社・工場】 〒934-8501 富山県射水市奈呉の江 12-2 Tel:0766-84-0001 Fax:0766-84-2000
【東京支店】 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1- 15-15 Tel:03-3292-0511 Fax:03-3295-6777
【非鉄営業部・新潟営業課】 〒950-0885 新潟市東区木戸 1-542 Tel:025-273-0001 Fax:025-273-0119
【Kurotani North America Inc.】 4145 SW Watson Avenue Suite 350, Office No. 345 Beaverton, Oregon 97005
【CMX Metals】 366 E 58th St, Los Angeles, CA 90011 USA
business@merf.co.jp